

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

8

2023

August

会員増強・新クラブ結成推進月間

生涯の友が見つかる場所へ

メルボルン国際大会レポート

Imagine What's Next

Rotary



2024年 ロータリー 国際大会

シンガポール 2024年5月25日～29日

2023年12月15日までに登録いただくと、
割引料金が適用されます。

希望からアイデアを生み出す
より良い未来への道筋を見出す
世界と希望をわかちあう

ロータリー最大のイベントに参加しよう！
2023年12月15日までに登録いただくと、
割引料金が適用されます。



ご登録：
convention.rotary.org



CONTENTS

8月は 会員増強・新クラブ結成推進月間



RI R I 会長メッセージ 4
R I 会長 ゴードン R. マッキナリー

特集 会員増強・新クラブ結成推進月間 7

生涯の友が見つかる場所へ

川越RC 小城直樹・山田禎久／成田RC 吉田 稔／
白山石川RC 野澤誠治／名古屋錦RC 石井弘子／
青森RC 木村義正

メルボルン国際大会リポート 16
Imagine What's Next

よねやまだより 22
ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
—— 奨学金制度編 ——

2023 - 24 年度 26
R I 理事会メンバー紹介
『ROTARY』7月号から

2023 - 24 年度 28
R I およびロータリー財団国内委員

2023 - 24 年度 29
日本国内・各種委員会委員

ELEVATE ROTARACT 37
名古屋熱田ローターアクトクラブ

NEW GENERATION 38
ローターアクター ビャムバドルジ・アナラ／
インターアクター ノローナ・アレキサンダー

6 ●ロータリーとは
24 ● People of action around the globe
31 ● ROTARY AT WORK
39 ● パズル de ロータリー／詰め将棋
40 ● エバンストン便り
41 ● 2024 年国際大会 **RI**
● 財団管理委員長からのメッセージ **RI**
42 ● 投稿規定／内外よろず案内／パズルの答え／詰め
将棋の答え
44 ● お知らせ ロータリー衛星クラブ／IAC 名称変更／新 RAC
／2023 - 24 年度版『ロータリーの友手引書』刊行／地区別クラブ
数・会員数一覧表／『友』9月号主要記事予定
45 ● 日本ロータリー分布図／奥付

●本誌中の R I は国際ロータリー、RC はロータリークラブ、RAC はローターアクトクラブ、IAC はインターアクトクラブの略です。
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。 ●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



Photograph by Monika Lozinska

In the spirit of caring

At the 2023 Rotary International Convention in Melbourne, I asked all Rotary members to become champions in our effort to illuminate mental health needs near and far. This includes helping one another feel more supported, advocating for mental health services, and building bridges with experts in the field to expand access to treatment.

It's an important task and a big ask. But it's also something that should feel familiar to every Rotary member — because everything we do is in the spirit of caring, giving, friendship, and compassion, and has been from the beginning of our organization.

We've grown into an amazing global network of 1.4 million interconnected community leaders — leaders who share a deep commitment to doing good in the world. But what makes Rotary powerful isn't just what we do for the communities we serve. We also support and empower each other, by creating a safe space for our members to bring their whole, authentic selves. We show each other comfort and care.

These connections are deeply meaningful. The U.S. surgeon general recently declared loneliness a public health epidemic. Dr. Vivek Murthy said, "We must prioritize building social connection the same way we have prioritized other critical public health issues such as tobacco, obesity, and substance use disorders." I am proud of what Rotary has done across generations to build those kinds of social connections — and this magazine focused on loneliness and what Rotary can do about it in its January 2023 issue.

Our worldwide community and our foundational value prioritizing Service Above Self makes Rotary a

powerful global advocate for mental health. A recently published study by Ohio State University found performing acts of kindness was the only one of three mental health interventions tested that helped people feel more connected to others. Study co-author David Cregg said, "Performing acts of kindness seems to be one of the best ways to promote those connections."

This research suggests what we've known all along — that doing good helps transform not just the communities we serve, but it also transforms us. As we put a greater focus on mental health, let's not think of this effort as something new to Rotary, but rather as something we can do better and as a result have a greater impact on ourselves and the people we serve.

We are not starting this effort from scratch. The Rotary Action Group on Mental Health Initiatives has been focused on these kinds of issues for several years, and we will be looking to members of that group for leadership as we continue to build awareness.

Mental health care fits comfortably within several of our areas of focus. As of May, there are 41 global grant-supported projects with a mental health focus. Many of them have tremendous promise, and we will be highlighting them in the months ahead.

So let's work together to erase the stigma associated with emotional well-being, raise awareness of mental health needs, and improve access to preventive and interventional mental health services.

Together, we will Create Hope in the World.

R. Gordon R. McNally
President, Rotary International

PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

RI 指定記事

思いやりの心で行動しよう

メルボルンで開催された 2023 年ロータリー国際大会で、私は全てのロータリー会員に、メンタルヘルスケアのニーズに光を当てることをお願いしました。これは、会員同士が互いに支え合うこと、メンタルヘルスへのサービスを提唱すること、治療へのアクセスを拡大するためにこの分野の専門家と橋渡しをするということです。

これは大切な任務であり、大きな課題です。それと同時に、全てのロータリー会員にとって身近な行為でもあります。なぜなら、ロータリーが、その当初より、思いやり、寛大さ、そして友情と慈愛の精神に基づいているからです。

ロータリーは、相互に結び付いた 140 万人のリーダーからなる素晴らしい世界的ネットワークに成長しました。私たちは、世界で良いことをしよう、という深い決意を共有するリーダーの集まりです。しかし、ロータリーに力を与えてくれるのは、地域社会での活動だけではありません。私たちはまた、会員が本来の自分らしさを発揮できるような安全な空間をつくることで、互いに支え合い、力を与え合っているのです。

こうしたつながりには深い意味があります。アメリカのある医師が最近、「孤独は公衆衛生上の疫病である」と明言しました。ビベック・マーティ博士は、「私たちは、たばこや肥満、薬物乱用など、他の公衆衛生問題への取り組みと同じように、社会的なつながりを築くことも優先しなければならない」と述べています。このような社会的つながりを築くために、ロータリーが世代を超えて行ってきたことを誇りに思います。

世界に広がる地域社会と、「超我の奉仕」を最優先する基本的価値観により、ロータリーは、メンタルヘルスに取り組むための強力な世界的サポーターとなっています。オハイオ州立大学が最近発表した研究によると、メンタルヘルスへの三つの介入方法のうち、親切な行為を行うことで、人々が他者とのつながりをより強く感じられるようになる

ことが、明らかになりました。研究の共著者であるデビッド・クレグ氏は、「親切な行為は、人とのつながりを促進する最善の方法の一つのように見えます」と述べています。

この研究が示唆するのは、よく知られているロータリーの支援活動は、奉仕する地域社会に変化をもたらすだけでなく、私たち自身にも変化をもたらすということです。今後、メンタルヘルスへの取り組みに焦点を置くに当たり、単にロータリーの新たな取り組みと考えるのではなく、より良く活動することで、私たち自身と奉仕する人々により大きなインパクトを与えることができる、と捉えましょう。

私たちは、この活動をゼロから始めるわけではありません。メンタルヘルスへの取り組みに関するロータリー行動グループは、数年にわたり、この分野の課題に取り組んできました。人々の認識を向上していくに当たり、このグループのメンバーのリーダーシップにも期待が寄せられます。

メンタルヘルスケアは、ロータリーの重点分野の幾つかにも合致しています。5 月の時点で、メンタルヘルスに焦点を当てた 41 のグローバル補助金プロジェクトが行われています。その多くは非常に有望なものであり、今後数カ月にわたり取り上げていく予定です。

心の病にまつわる偏見をなくし、メンタルヘルスへのニーズに対する認識を高め、予防的・介入的メンタルヘルスサービスへのアクセスを向上させるために、力を合わせましょう。

共に、世界に希望を生み出しましょう。

ゴードン R. マッキナリー

2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数37,183、会員総数1,201,101人（2023年6月15日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,216、会員数84,523人（2023年5月末現在）となっています。

2023－24 年度会長テーマ



世界に希望を生み出そう

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 会員増強・新クラブ結成推進月間

生涯の友が 見つかる場所へ



社会に出れば、出会うのは仕事の関係者ばかりで、なかなか仕事以外の場で友を見つけるのは難しくなるもの。けれども、ロータリークラブに入れば、職業の枠を超えるばかりか、年齢も、性別も、国籍までも超えて、出会いのチャンスが待っています。会員を増やすことは、まだ見ぬ友との出会いのチャンスを増やすことにもつながります。今回はロータリーで見つけた友情と、その出会いをご紹介します。さあ、友のいる場所へ。



80億分の1の出会い

川越RC 小城 直樹

私は2019年に川越ロータリークラブ(RC)に入会し、その後、川越について学ぶクラブの勉強会で、山田禎久さんと初めて会いました。山田さんは約1500年もの間、総鎮守として川越を見守ってきた川越氷川神社の宮司で、川越に生まれ育った誰よりもこの地を熟知しています。転勤族の私にとって、彼の話には興味が尽きませんでした。お酒も入り、共にした時間が非常に楽しく、その日のうちに次の約束を交わしたほどでした。

教養と見識を兼ね備えた山田さんと会えば、時事問題から川越の抱える問題、未来への展望など幅広い話題でいつも盛り上がります。ある日、そんな談笑の場で、彼から「地元の若者たちの離職率が高く、しかも川越から流出している」という話題が出ました。加えて「地元の若者たちは意外と川越のことを知らない」とも。そこで、少しでもその問題を解消できないかと話し合ったことがきっかけで、20年6月、私が支店長を務める野村証券(株)川越支店の社内研修(若手社員研修)の講師を山田さんをお願いし、川越氷川神社で実施することになりました。普段、二人で楽しく話しているような話題の延長として、若い人たちにも川越について知ってもらうことにしたのです。

人も町も、知れば知るほど親愛の情が湧くもの。この企画に興味を持った他の会員の企業も巻き込み、翌21年からは「川越若手社会人会議」と銘打って新たにスタート。22年からは会員以外に広がり、町全体を巻き込んだ、若手社会人の交流と学びの場に発展し、私自身、少し驚いています。

世界には約80億もの人がいるとはいえ、一説によると、一生のうちで身近に話せる人との出会いは300人に満たず、さらに本当に親しくなるのは3人ほどだそうです。そんなわずかな確率の中、川越で生まれ育った山田さんと、転勤族の私とが出会い、友情を築くという奇跡が起きました。この感謝を形にし、若者たちへも出会いのチャンスをお裾分けしたい。そうすることで、この地域はもっと愛されて、もっと良くなっていくと信じています。その全ての奇跡をもたらしたのも、それこそがロータリーだと、この出会いが実感させてくれています。

(第2570地区 埼玉県)

山田禎久さん から 小城さんへ

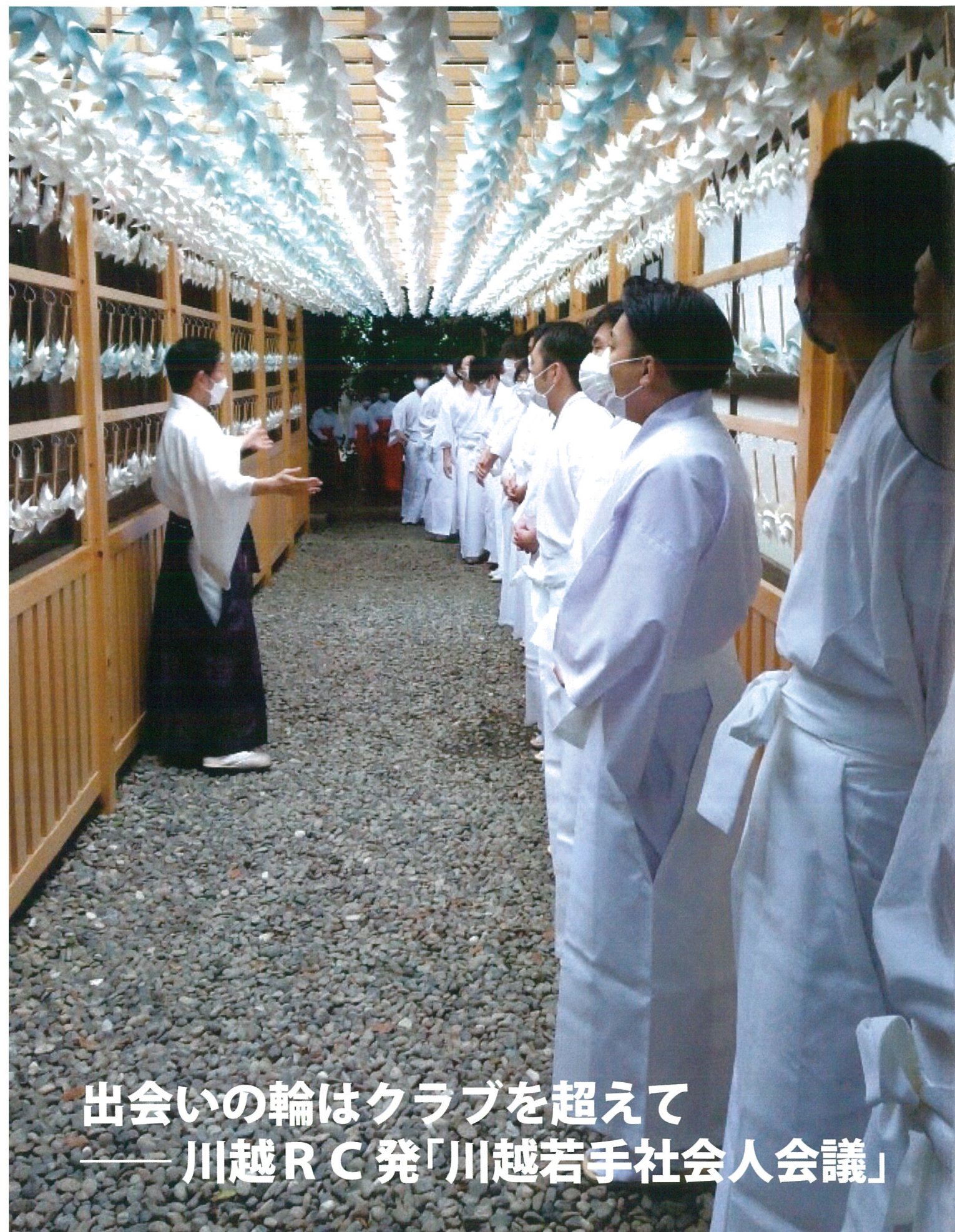
城下町・川越市の鳥は雁^{かり}。毎年北から南へと渡る雁が、城の上空を3度回ったという故事から市の鳥に指定されました。この言い伝えのように、川越は外から訪れる新たな力を受けて発展してきたのかもしれない。支店長として赴任し、苗字に「城」の字を持つ私の友人が、この城下町に新たな力をもたらし、その影響を広げてくれています。

初対面の方は、まさか小城さんが転勤族だとは思わないでしょう。これほどまでに川越の歴史に詳しく、地域で愛される人はそうそういません。会うたびに深く考えさせられる話題が出て、しびれるような刺激を受けています。時には翌日にまで影響が出るような笑いを提供してくれる小城さん。出会えたことは、無上の幸福です。





左から山田禎久さんと小城直樹さん
二人の出会いが発展。「川越若手社会人会議」の様子は次ページで紹介 ⇒⇒⇒



出会いの輪はクラブを超えて
—— 川越 R C 発「川越若手社会人会議」



2022年6月の第2回会議では、参加者が神職用の衣装を着て、川越氷川神社で拝礼の作法などを体験(左ページ)。その後、オリエンテーションとカリキュラム(写真上から)では①自己紹介、②チーム名を考え、③ゲームで交流、④“理想の川越”について意見交換し、発表。“川越”を知ること、地域への愛着を促進。さらに、横のつながりを強化し、相談できる人たちを職場以外に持つことで、離職や地域からの流出を防ぐ効果も期待しています。その反響やいかに？⇒⇒⇒

参加者の声

参加前は「仕事の時間が取られてしまう」「正直めんどくさい」という声があったものの……。以下、参加後のコメントを抜粋。

「川越への愛着がより深まった」「ただ何となく過ごしていたが、研修を経て、新しいお店や人気店、逆に人気がない店の原因まで考えるようになった」「地域の若手とのつながりが生まれたことで、地域への関わりが増したように思う」「お客さんとも、川越の良さについて話してみようと思う」「多様な考え方や姿勢に触れたことが刺激になり、本業のモチベーションが上がった」など。



昨年のクラブ親睦
旅行で肩を寄せ
笑顔の二人。左が
“親友”の佐久間
高直さん

子年生まれの二人

成田RC 吉田 稔

私たちの付き合いが始まってちょうど10年になります。成田RCで知り合った二人、共に子年生まれです。同級生ではなく、佐久間高直さんは私より^{えと}千支が一回り上の75歳。仕事の共通点もなく、生まれ育った地域も学校の縁もない中、共通の趣味といえるのはゴルフだけ。佐久間さんは、お酒と無縁なので、食事はお昼のみの間柄。しかし、私たち二人の仲は深いのです。

佐久間さんは決して兄貴面することなく、お互い「さん」付けで呼び合います。ある時、この地域にいる方から「どういうご関係ですか」と聞かれ、私は「親友です」

と即答しました。自信を持って紹介できる両家の家族、そして成田RC公認、私の親友なのです。

クラブ活動を通してのお付き合いは無論のこと、お互いに交流する仲間を紹介し合うなど、関係はさらに広まりました。50代と60代で知り合った二人。何歳になっても新たな出会い、そして親友に発展することがあるんですね～。地元のみならず、そうした出会いの輪が無限に広がっていくロータリークラブって、本当にすてきな居場所です。佐久間さんと、ロータリーに感謝！

(第2790地区 千葉県)

どこに行ってもいつも一緒

白山石川RC 野澤 誠治

私が白山石川RCに入会したのが2005年。クラブの創立がその4年前で、安田晶一さんは創立会員でした。クラブに入ったものの、右も左も分からなかった私に、安田さんはとても親切にしてくれて、年齢も2歳差と近かったため、すぐに仲良くなりました。

その後、13年に訪問したアメリカ・シカゴの夜をホテルの同じ部屋で過ごし、同年に広島で開かれたロータリー世界平和フォーラムも同じ部屋、18年のカナダ・トロント国際大会でも同じ部屋、19年に友好クラブ・

八日市南RC（滋賀県）と教育支援プロジェクトでカンボジアに行った時も同じ部屋。偶然もあるでしょうが、どこに行っても一緒なんです。

そんな機会が重なるたびに、「俺たち夫婦かよ！」と笑い合える関係ができたおかげで、妻同士も仲良くなりました。ロータリーがあったから芽生えた友情。家族ともどもずっと仲良く、これからもロータリーを通して社会貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

（第2610地区 石川県）



シカゴの国際ロータリー本部の前で一緒に記念撮影。左が安田晶一さん

ね、みんなもそうよね???

名古屋錦RC 石井 弘子

2015 - 16 年度、女性会員が少ない当地区で、私を含め 4 人もの女性が会長に選出されました。4 人はすぐに親しくなり、「せっかくだから女性会長会をしない？」という話に。しかも、この年度は尾西RCの平松清美さんが地区女性初のガバナー補佐となり、「平松さんにも声をかけてみようよ」となりました。

どうしたわけか私が連絡役となり、おっかなびっくり電話したところ、明るい声で「いいよ!」と即答。5 人で名古屋の繁華街に集まり、わいわいと飲んで食べて。ロータリーのこと、仕事のこと、家族のこと、趣味のこと、いろんな話をしました。「他のクラブに仲間ができ

るっていいなあ。うれしいなあ。私、こういう仲間が欲しかったんだなあ」と、しみじみと思いました。

年度終了後も付き合いは続き、平松さんとは地区で同じ役職が重なったりして、ものすごく親しくなりました。わが家で持ち寄りのパーティーを開いたりしましたけど、彼女の作るチーズケーキは絶品なんです。彼女は苦勞人で、世間知らずな私の良きアドバイザー。私の横紙破り的な意見が刺激を与えることもあるようです。

私は、それぞれが互いに得難い友人を得られたんだと確信していますけど、「ね、みんなもそうよね? 平松さん、そうよね??」
(第 2760 地区 愛知県)



2016 年春に開いた第 1 回女性会長会にて。左から古橋エツ子さん(尾張旭RC)、志水ひろみさん(春日井RC)、私、平松さん、都築八千代さん(名古屋名東RC)

私の宝物

青森RC 木村 義正



左から鈴木輝顕さんと私。青森RC「げんぶ会(青森の旬の食材を肴に飲む会)」にて

ロータリーに入会してもう30年になります。いろいろな出会いがありましたが、中でも特に、あるロータリアンのことが思い出されます。

お名前は鈴木輝顕さん。彼は日本原燃(株)の副社長として、2003年から11年までクラブに在籍しておりました。初めて言葉を交わしたのは委員会活動の打ち合わせでしたが、その後、デパートで鉢合わせし、「お買い物ですか」と声をかけたら、奥さまの誕生日にプレゼントを買いにきたとのこと。「ぶしつけですが……」と中身を聞くと、奥さまが好きな「画家・小磯良平の素描だ」と。私も絵画に興味があり、これをきっかけに声をかけ合うようになりました。

彼が残してくれたものが二つあります。一つはクラブの合唱団創立のきっかけをつくってくれたこと。06年の家族望年会の時、鈴木さんの提案で、会員有志が合唱をすることになりました。彼が指導者で「ロータリーの四季」と題したメドレー曲を編曲し披露。大好評を得ました。彼が11年に栄転で仙台に移り、寂しい思いをしていたところ、それから3年足らずでの思いがけないご逝去。仙台での「お別れの会」に駆け付けると、彼が所属していた「メサイヤを歌う会」がその席で歌を届けていました。歌声に感動した私は、クラブにも合唱団を立ち上げたいと思い、合唱同好会の創設を提案。多くの賛同を得て、「鈴木輝顕記念合唱団」ができました。今や団員30人を有する合唱団に成長し、催事があるたびに活躍しております。現在は「青森RC合唱団」と改名しましたが、彼の人となりが見えたエピソードです。

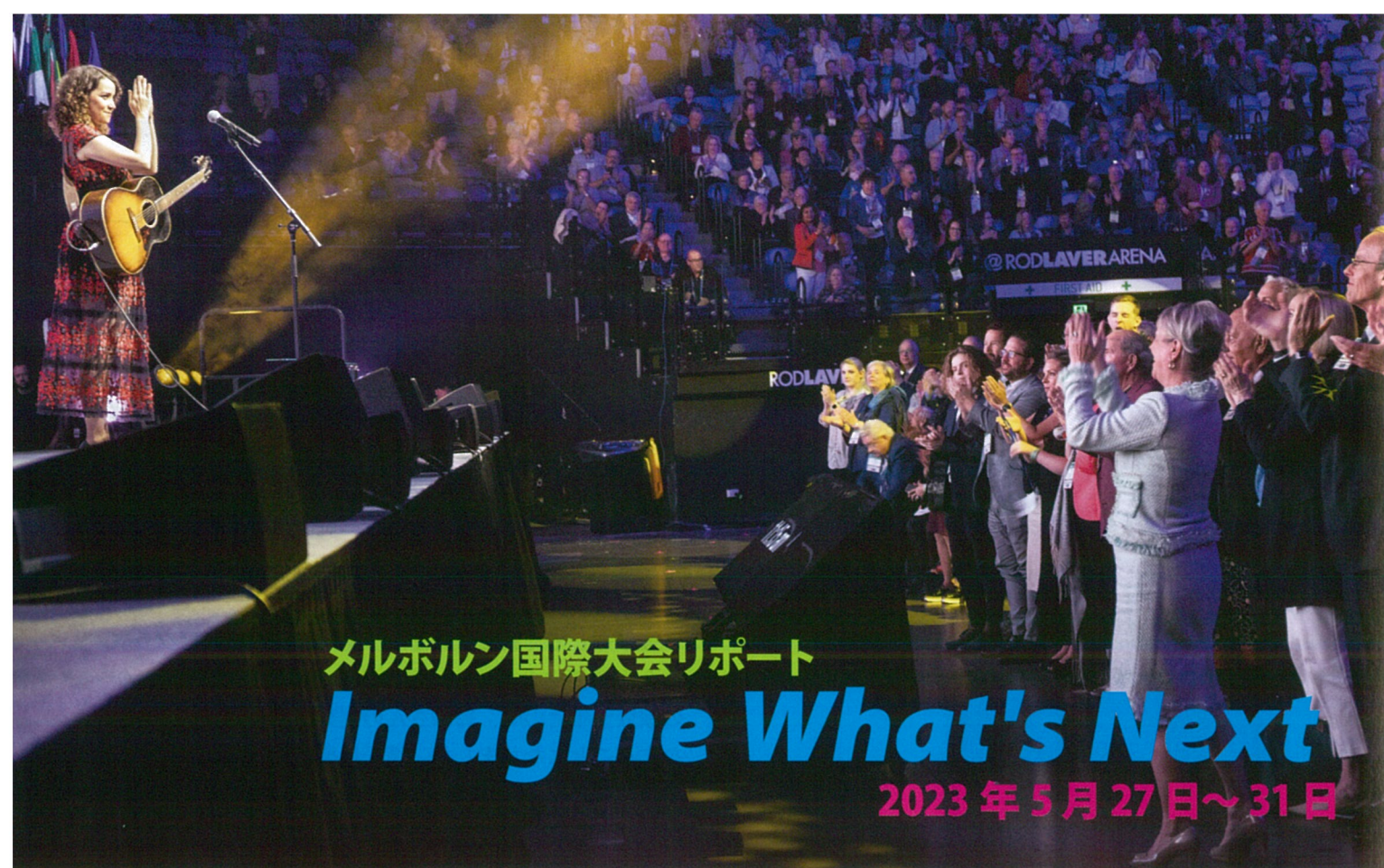
もう一つは共通の趣味、茶道でのこと。流派は違いますが、道具や作法のことなど、よく話をしました。栄転となる最後の夜、私が亭主を務め、お別れのお茶事をさせてもらいました。私はこの時、初めて茶事の真心が自らに湧いたような気がしました。

彼の逝去後、私の元に茶杓が送られてきました。奥さまによると、彼が「私に、と言いつ残した」と。作は、緒方宗幸。古竹を自ら削り奈良薬師寺に献上され、それに薬師寺の高田好胤元管主が書付をされたものです。

孟子の言葉から「為後義而先利不奪不鬻」とあり、四字熟語では「先義後利(道義を優先させ、利益を後回しにすること)」、ロータリーの考え方にも通じます。私の名前の一字が入っているので、特にご縁を感じております。材は煤竹で、通常より長く、權先の反りが少なく、止節になっており、珍しい作なのでどのようなお席で使ったらよいか、二人で話し合った思い出の茶杓です。

ロータリーにいたからこそ得られた友情と、思い出。私の大切な宝物です。

(第2830地区 青森県)



メルボルン国際大会レポート

Imagine What's Next

2023 年 5 月 27 日～31 日

コロナ禍で 2020 年(ハワイ)、21 年(台北)の国際ロータリー (R I) 国際大会はバーチャルで開催。22 年はヒューストンで対面開催されましたが、日本の登録者は 498 人と例年より少ない数でした。今回は 1,534 人が登録 (全登録者数 12,816 人)。アメリカ、オーストラリアに次ぐ 3 番目に多い登録者数となりました。

Opening General Session —開会式—

本会議はテレビ司会者のマリア・ビョークさんとアスティルドゥル・オマスドッテイルさんの司会で進行。二人は親子で、アイスランド



のロータリアンとローターアクター。オーストラリアのあいさつ、「G'day !」からスタートしました。

開会式恒例の国旗入場は、ビクトリア州内のインターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、ロータリアンによるもの。国名がアナウンスされるたびに拍手や声援が上がりましたが、今回一番大きな拍手に包まれたのが、ウクライナ。ロシアからの参加者がこの光景をどんな思いで目にしているのかという思いがふとよぎりましたが、どこの国よりも大きな拍手が会場全体に響き

渡りました。

私 (『友』編集長・野崎恭子) 自身は 4 年ぶりの対面での参加。変わったことがいくつかありました。まずはプログラムがデジタル配信になったこと。以前は登録すると冊子のプログラムが配布されましたが、今回は事前にウェブサイトからダウンロードするか、スマホに R I のアプリを入れて、そこからプログラムを調べられるようになっていました。ペーパーレス化、進んでる！

また、国旗入場、R I 理事、財団管理委員の紹介も、モニターでの映像が中心。コンパクトにまとめられていたのが印象的でした。

そして同時通訳。以前はラジオで、言語ごとにチャンネルを合わせて聞いていましたが、今回はスマホで二次元コードを読み込めば通訳音声が入るとのこと。ラジオを持たず、イヤホンだけを持っていきました。ところが、いざ会議が始まっても、Wi-Fi がほとんどつながらず、同時通訳の音声はあまり聞こえませんでした。

2 日後、「通信環境が改善した」という連絡がありましたが、状況はあまり変わらず。会議前のアナウンスによると、ラジオでも聞こえるとのこと。こんなことならラジオも持っていけばよかった。会場前にあるアシスタントデスクで、「困った顔を見るとラジオがもらえた」



との情報を得て、私も困った顔をしてラジオを入手しましたが、音質がひどく、聞き取ることができませんでした。後で他の参加者にも聞いたところ、座席の場所によって受信できたりできなかったりとのこと。スマホやラジオの操作に気を取られて、講演を聞くどころじゃなかった、なんていう声も。ということで本レポートは、本会議中の講演を中心に報告します。



一年を振り返って

2022 - 23 年度 R I 会長 ジェニファー・ジョーンズ

私は、女性として初めてロータリーを率いることになったという話題は避けたいと思いつつ、会長としてこの旅を始めました。

この一年で、世界は新しいスタイルのリーダーを求めていることを知りました。共感ができ、オープンで、変革に参加する全ての人から学ぶとするリーダーです。



私は年度末までに、女性会員の割合を全世界で 30% にするという目標を立てました。今日、193 カ国のうち 124 カ国がこの目標を達成し、さらに多くの国がこの目標に近づいているとお伝えできることを大変うれしく思います。そして、道を切り開いてくれたロータリーに特別なエールを送ります。ジェンダーの平等は、彼らの存在によって現実のものになるということです。

ここで重要なお知らせがあります。財団管理委員会は、「エジプトにおける子宮頸がん撲滅のための結束プログラム」に、3 回目の大規模補助金を授与することを決定しました。

このプログラムは、子宮頸がんに関する意識向上と予防のためのキャンペーンを 4 年間実施することで、エジプト国内の子宮頸がんを大幅に減少させることを目的としています。がんを克服した者として、私はこのプロジェクトを支援することを誇りに思うと同時に、ロータリーが女性の健康を支援するため、このような重要な一歩を踏み出していることに感謝しています。

私は、「イマジン・インパクト・ツアー」の八つの訪問地全てで、新旧のプロジェクトにおいて、このようなインパクトを一年を通して見てきました。このツアーで、世界にはたくさんのポジティブな変化が起きていることがよく分かりました。しかし、今日、全てがばら色というわけではありません。最近のニュースで報道されていますが、いくつかの国で、LGBTQ+ コミュニティーの人々が新たな、そして危険な脅威に直面しています。私たちはこの問題において、DEI（多様性、公平性、インクルージョン）を維持することができるのでしょうか？

ロータリーは特定の政治・宗教に肩入れしない組織ですが、人権と人間の尊厳のために活動しています。私たちは疎外されている人々に対し、ポジティブな結果に影響を与えるために、私たちの総力を結集しなければなりません。月経を理由に女性が働くことを許されない国々で私たちは声を上げなければなりません。政治的腐敗が食糧や医薬品へのアクセスを妨げている国々で、私たちは声を上げなくてはなりません。そして少女も少年も平等に教育を受けられるようにすること、これらが人類の礎なのです。

これこそ、リーダーの課題です。なぜなら、ロータリーでは、私たちはみんな、リーダーであり、地球と仲間の運命に責任を負っているからです。

今述べたことは大きな夢です。高尚な要求ですが、私はあなた方一人一人の中にそれを見えています。私たちは共に市民社会の声であり、勇敢で勇気あるリーダーとして、理解を通じて世界平和を育むことが、私たちの義務であり責任であると信じています。

それが可能であることを常にイマジンしていきます。

General Session

—第2・3本会議—

今大会のテーマは、「Imagine What's Next」。希望、夢、変化、そして未来にフォーカスを当てたスピーチが行われました。年齢、性別、出身、職業も異なる講演者が登壇。その多くは、ジョーンズ会長の「イマジン・インパクト・ツアー」の中で関わった人たちです。さまざまな視点から平和な社会を築き、気候変動に立ち向かうための問題提起をし、インスピレーションを参加者に与えました。



①ナキーヤ・ドラマニ・サムさん（10歳の気候変動枠組条約アンバサダー）詩を朗読。「洪水、竜巻、火山、地震、津波、干ばつ、台風。地球上で次々と起こる異常気象……。この気候変動を、私たちは生き延びることができるのか。私たちの地球を守るために、みんなのできることをしよう」



②ザラ・ジャンジュアさん（ジャーナリスト、映画制作者）「2020年3月、私が初めて慈善映画を制作していたネパールで、ジョーンズ会長に出会いました。私たちは、共通の価値観を持ち、ストーリーテリングが人間の経験をつなぐ最も効果的な方法の一つだという共通の認識でつながりました。そしてロータリーとグアテマラ識字率向上プログラムが同国の地方の農村部で行っている活動を記録するために、会長は私をグアテマラに招待してくれたのです」

③ヒュー・エバンスさん（グローバル・シチズンの共同創設者兼CEO。世界的に有名な人道主義者であり、国際開発におけるリーダーの一人）「ロータリアンの皆さんは、一度も『多過ぎる』『難し過ぎる』という答えを出したことはありません。『Service Above Self』の理念を、全てのステップで実践されています」

④レイマ・ボウィさん（2011年ノーベル平和賞受賞者、Gbowee Peace Foundation Africa創設者）「この25年間、私は平和とは戦争や暴力的な反乱を終わらせることだと考えてきました。しかし、振り返ると、平和な社会とは、戦争がないことではなく、全ての人が尊厳を持って暮らせることだということが分かりました」



ロータリーは、世界をよりよくし、皆が平和に暮らせるように活動しています。ウガンダ・カンパラのムイエンがロータリークラブのエマニュエル・カトンゴールさんもその一人。ロータリーによって人生が変わり、今では他の人の人生も変える影響を持つまでになりました。

長年にわたり、ロータリーは世界中の何百万人もの人々に変化をもたらしてきました。私もその一人です。私は 1962 年生まれのウガンダ人です。

私の父は茶園で労働者として、母は教会の宣教師の使用人として働いていました。私は末っ子で、3 人の姉がいました。

父は良い生活を求めてカンパラ市に移りました。しかし 1966 年 5 月、彼は仕事に出かけたまま帰らぬ人となりました。独裁政権下のウガンダ軍事衝突の際に射殺されたと考えられます。母には私たち 4 人を通学させる経済的余裕はなく、教育を私に集中させるため、姉たちを退学させました。

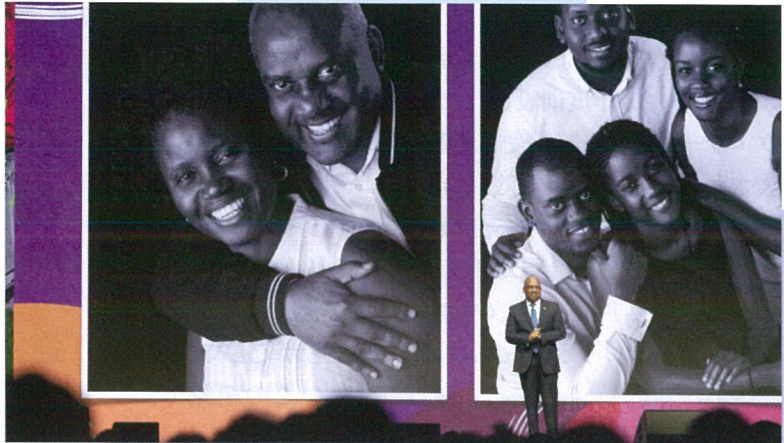
とはいえ、私自身も学校に通いながら道端で焼きトウモロコシを売るなどして働きました。一方、一番上の姉は 15 歳で妊娠、助産師さんのところに行くお金がなく、出血多量で死にました。他の 2 人の姉も後にエイズで亡くなっています。

草ぶきの小屋で母と 2 人、寂しい生活を送っていましたが、努力が実を結び、高校の試験で優秀な成績を収めることができました。しかし経済的な余裕はなく、進学を諦めていたところ、あるロータリー会員に見いだされ、マケレレ大学（ロータリー平和センターのある大学）を卒業することができました。悲しいことに、私の母はその直後にがんで亡くなりました。

しかし幸運なことに、私は妻と巡り合い、子どもを得ました。家族から、ウガンダの人々を何百万人も殺している病気（エイズ、マラリア、がん）の解決になるよう励まされ、私は製薬会社を共同設立しました。

あるロータリアンから、インドの大手製薬会社シプラ社との提携を持ちかけられたのが、私の 2 度目のロータリー体験でした。そして、このパートナーシップにより、WHO が承認したこのビジネスは成長し、エイズとマラリアの医薬品を製造しています。600 人以上の専門家を雇用し、アフリカ 20 カ国に医薬品を供給しています。

アフリカでは、当社のエイズ治療薬によって、約 200 万人の人々が生き延びています。ウガンダでは、マラリアで死亡する人の数を 1 日 400 人以上から 15



年間で 50 人以下に減らし、今後これをゼロにするのが私たちの夢です。

これらの功績により、私は 2013 年の E Y ワールド・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーで殿堂入りを果たしました。同年、ローマ法王から、“人類への貢献”を認められ、騎士の爵位を授与されました。

そして私はロータリーに入会しました。このことが私の功績になるかは分かりませんが、ロータリアンの助けによって私の旅は成り立っています。ある作家は、「最も美しい人は、敗北、苦しみ、闘争、喪失を知り、その深みから抜け出す道を見つけた人である」と言いました。私が人生で成し遂げたことは、全てロータリーによるものです。

ロータリーは、私や他の何百万人もの人々を草むらから優雅な場所へと導いてくれました。

私のような絶望的な状況にいても、ロータリーが希望を与えてくれるのです。

私は、極端な貧困の中で生きることと、特権の中で生きることの違いを知っています。その違いは非常に大きいのです。

このギャップを埋める責任が、私たちにはあります。ロータリーは、私たちの人道的な努力を結集し、変化をもたらす最良の手段です。

ロータリーを「イマジン」し続けることで、世界に希望を生み出していきましょう。

歴史は私たちに好意的です。次の世代は私たちを誇りに思うでしょうし、私たちの行動によってよりよい世界がそこにあるはずです。

Closing General Session

—閉会式—

地元パフォーマンスグループによる「The Greatest Show」で華やかにスタート。続いての出演者は今から60年前オーストラリアでレコードデビューをしたビーズ・ユア・ラブ! 70年代に大ヒットした「ハウ・ディープ・イズ・ユア・ラブ」「ステイン・アライヴ」を披露しました。当時(おそらく)青春真っ盛りだった多くの参加者がノリノリで踊り出します。ただ、ローターアクトーたちはこれらの曲を知らないかもしれませんが……。

2022-23年度創設されたシルヴィア・ウィットロック・リーダーシップ賞受賞者が、ジョーンズ会長から発表されました。この賞は、ロータリーにおける女性の進出に積極的に尽力する会員を表彰するもので、女性のロータリーの入会に尽力した、アメリカ・カリフォルニア州ドゥアルテRCの会長の名前を冠した賞です。当のウィットロックさんも登壇。「私たちが愛してやま

ないこの組織で、ジョーンズ会長のような女性リーダーが活躍するのを目の当たりにすることができ、とてもうれしいです。女性、人種的・民族的マイノリティ、LGBTQ+、そして長い間差別されてきた全ての

シルヴィア・ウィットロックさん
(左)とチン・メイ・ルーさん



人々のために扉を開き、平等を目指すために闘ってきました。これらの闘いが、不可能を可能にする準備を整えてくれたのです」と感慨深げに語りました。

受賞者は台湾・台北台美RC会員のチン・メイ・ルーさん。ロータリー歴30年のメイさんは2021年、男女平等の会員構成を唱えた新しいロータリークラブの創立会長となりました。現在は、地区のDEI委員会委員長を務めています。

Breakout Sessions & Friendship House

—分科会と友愛の家—

今回は、本会議の開催されたロッド・レーバー・アリーナと、友愛の家・分科会会場のメルボルン国際会議場が離れていた(徒歩約35分)ことから、専用のシャトルバスがたくさん用意されていました。しかし、バスに乗るのも公共交通機関のトラムに乗るのも大行列。乗ったら乗ったで渋滞に巻き込まれることもあり、移動がスムーズではなかったことは否めません。そのせいか国際会議場はコロナ前より人が少なく、静かな印象でした(あるいは会場前にカジノがあったせいかも)。

分科会は、大会期間中に72のテーマで行われ、日本語の通訳がついた分科会は6つありました。メルボルン国際大会の登録者のうち、日本の登録者が10%以上を占めることを考えると、分科会に出席する人はあまり

多くなかったようです。出席があまりに少ないと同時通訳サービスがなくなるかも、と思う一方で、日本人に興味がある分科会のテーマに必ずしも通訳がついていない、ということも気になりました。

友愛の家では、世界各地のロータリー会員のさまざまな奉仕活動や、ロータリー親睦活動グループの活動を紹介するブースが数多く設けられていました。以前は日本の会員がブースを出していたこともありましたが、今回はなかったようです。

これらに足を運んだ方は、分科会で会員がディスカッションを聞いたり、日本ではあまり扱っていないテーマの取り組みを友愛の家で学んだりするなど、今後のロータリー活動のヒントを得られたことでしょう。

次年度会長として

2023 - 24 年度 R I 会長 ゴードン R. マッキナリー

「人間としての思いやりが私たちを結び付けます。哀れんだり恩着せがましくしたりするのではなく、私たち皆の苦しみを未来への希望に変える方法を学んだ人間として」

これは、ネルソン・マンデラ氏が語った言葉で、ロータリーの会員であること、そして、現代の課題に取り組むこと、分裂や対立を超えて、つながりや平和を求める人間の唯一のニーズを見いだすことの意味をよく表しています。

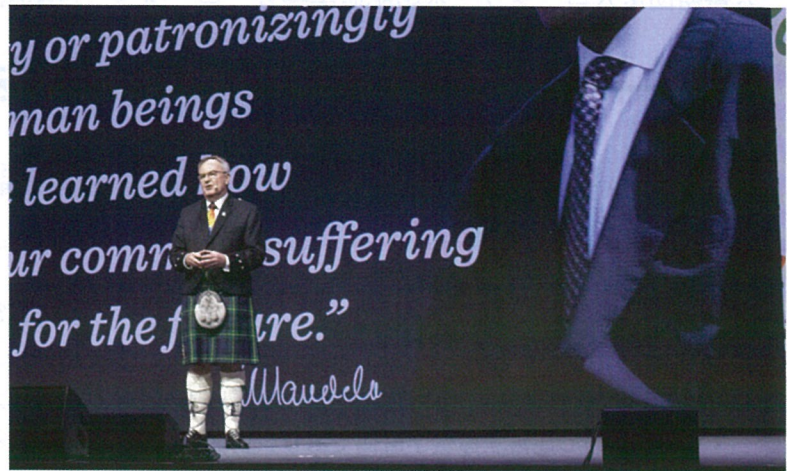
2023 - 24 年度のテーマは「CREATE HOPE in the WORLD（世界に希望を生み出そう）」。

マンデラ氏の呼びかけを基にした五つのシンプルな言葉です。この歴史の重要な瞬間に、呼びかけに応える準備ができているロータリーを表す言葉です。

希望を生み出すために、私たちは、世界中で平和を構築するための努力に再び焦点を当てなければなりません。そして、私たちは互いに内なる平和を見いだす手助けをし、私たちが奉仕する人々にそのケアの倫理を伝えるなければなりません。

世界平和の創造に貢献すると同時に、私たち自身の中にも同じような変化をもたらすよう努力しなければなりません。なぜなら、この地球上の多くの人々にとって、希望を失うことは物質的な貧困に起因するものだけではないからです。多くの人々が傷ついています。病気や戦争、災害で大切な人を失っている人もいます。社会的な溝も広がっています。

つながりの機会が失われているのです。悲しいことに、



子どもや若者がこの喪失感を最も強く感じています。そして、悲しいことに、メンタルヘルスの課題を議論すること自体が弱点と見なされる地域が世界にはたくさんあります。私たちはそれを変えなければなりません。

2023 - 24 年度、私はメンタルヘルスを優先することを目指し、この先もこの約束を守ることができるようになりたいと願っています。そして、皆さんに、この取り組みのチャンピオンになっていただきたいと思います。

それができるのは、「人間としての思いやりが私たちを結び付けます。哀れんだり恩着せがましくしたりするのではなく、私たち皆の苦しみを未来への希望に変える方法を学んだ人間として」

新しいロータリー年度への架け橋として、「CREATE HOPE in the WORLD」を実現しましょう。



取材：『友』編集長 野崎恭子 写真：©Rotary International ロータリーの友



上左・中：友愛の家で交流を楽しむ参加者たち 右：人身売買と児童搾取をゼロにする活動を行っているロータリー親睦活動グループの分科会。「ロータリーアン自らがスーパーマン（ウーマン）にならないと！」と主張

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

—— 奨学金制度編 ——

★ ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自の事業ですが、国際ロータリー(RI)からも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

★ 外国人留学生を支援

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2023学年度(4～3月)の全国の奨学生数は、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模となる900人です。これまでに累計で、世界131の国と地域からの留学生2万3,509人を支援しています(2023年7月1日現在)。

★ 世界平和への思いから始まった国際奨学事業

事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブ(RC)の当時の会長、古澤丈作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。

“日本のロータリーの父”と呼ばれ、若い人たちへの支援にも力を注いだ米山梅吉氏(1868～1946)。この事業は、氏の生前の功績をたたえて名付けられました。初めての奨学生をタイから迎えたのは2年後の1954年。それ以降は、海外からの招聘ではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から、全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界に門戸を開くなど、時代の変化に柔軟に対応しながらも、「ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与する」という事業の目的は、今日まで変わっていません。

★ 奨学生を育てる世話クラブ・カウンセラー制度

当事業特有の制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となっ

て、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活だけでは得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの精神を学びます。これはカウンセラーを務める会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

★ 学友の集い、つくば市にて開催

米山奨学生は、奨学期間を終えると「米山学友」となります。2014年1月のRI理事会で「学友」の定義が拡大され、米山学友も正式に「ロータリー学友」として承認されています。

現在、日本国内に33、海外に10(23年5月に新たにベトナム南米山学友会が設立承認)の米山学友の同窓会組織である「米山学友会」があり、学友同士の親睦にとどまらず、独自の奉仕活動を実施したり、日本と母国の奉仕プロジェクトの仲立ちをしたり、他の学友会と交流するなど、ロータリーの世界に根を張り、ネットワークを広げています。

その一環として、世界各地の米山学友が一堂に集う世界大会「再会 in 関東」が今年8月に茨城県つくば市で開催されます。米山月間特集となる10月号で、「再会 in 関東」の模様をお届けします。どうぞご期待ください。

★ 奨学金の種類と特徴(2023学年度)

ロータリー米山記念奨学金一覧	月額	期間	募集システム	人数
1. 学部課程(YU)	10万円	最長2年	指定校推薦	843人
2. 修士課程(YM)	14万円			
3. 博士課程(YD)	14万円			
4. 地区奨励	7万円/※10万円	1年/※最長2年		22人
5. クラブ支援	14万円	6カ月/1年	世話クラブ推薦	13人
6. 海外応募者対象	10万円(学部生) 14万円(大学院生)	2年	公募	18人
7. 海外学友会推薦	14万円(渡航・住居費別)	1年	海外学友会推薦	4人

※ 高専専攻科、専修学校高度専門士課程の場合

「よねやまだより」では毎年8～9月号に“基礎知識”を掲載し、「米山」の始まりから特長、寄付の使途といった基本的な情報をお伝えしています。新会員からベテラン会員まで、事業のあらましについてご覧いただき、大変好評を頂いています。“日本のロータリーの誇り”である米山記念奨学事業について、今号で認識を新たにいただければと思います。今月は「奨学金制度編」、来月は「寄付金・財政編」をお届けします。



■ 学部課程・修士課程・博士課程奨学金

——大学・大学院生対象のプログラム

大学・大学院の正規留学生が対象で、採用者の9割以上を占めます。23学年度は学部440人、修士236人、博士167人が採用されました。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。奨学生が世話クラブに通える範囲内で、地区外の学校も指定できます。

■ 地区奨励奨学金

——大学・大学院以外の教育機関を対象とするプログラム

地区の裁量によって、短大・高専・専修学校などを指定校にし、在籍する留学生を支援できる制度です。23学年度は7地区で22人が採用されました。学部相当の高専専攻科、専修学校高度専門士課程を除き、奨学金額が修士・博士課程の半額である代わりに、1人の枠につき2人を採用できます。近隣に大学がない地域にも、世話クラブを広げることによって交流の機会が広がり、事業への理解を得られる効果が期待されます。

■ クラブ支援奨学金

——現役奨学生のための期間延長プログラム

現役奨学生の世話クラブが、奨学期間を延長して支援したい場合に適用されるプログラムで、6カ月または1年の選択制です。延長期間の奨学金の半額を、世話クラブが負担します。博士号取得見込者の他、上級課程へ進学、または次の学年に進級する現役奨学生が対象です。ただし採用月によっては、延長により地区の新規採用人数が減るため、採用を控える地区もあります。

■ 海外応募者対象奨学金

——海外在住の日本留学希望者が応募できる制度

日本での留学先が決まっている外国人が、海外から個人で応募できるプログラムです。最も困難を伴う来日初年度から支援でき、奨学期間は2年間。他のプログラムとは異なり、在日留学生からの選考ではないため、留学生数の多い国に偏らず、国籍や人材の多様化が期待されています。各地区は割当数の枠外で1人を採用することができます。応募者には基礎レベルの日本語能力を求めています。過去に勉学を目的とした日本滞在歴のある人は応募できません。ただし、ロータリー青少年交換での日本滞在歴は例外として認められています。

■ 海外学友会推薦奨学金

——海外学友会との共同プログラム

海外の米山学友会が、現地の日本留学希望者を募集・選考し、推薦するプログラムです。現在は台湾と韓国で実施しており、23学年度は韓国学友会から推薦された1人が採用されました。博士号取得者で、大学などに勤務する教授・上級研究者を対象に、日本での研究活動を1年間支援します。この制度は、海外学友会の活性化や現地での米山記念奨学事業の認知度向上に役立っています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、「よねやまだより」についてのご意見・お問い合わせは、(公財)米山記念奨学会まで。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

ウェブサイト: www.rotary-yoneyama.or.jp

第5代よねやま親善大使が就任 ぜひ皆さまの元へとお招きください！

よねやま親善大使とは、スピーチや交流を通して米山記念奨学事業への理解推進に努める米山学友の代表であり、広告塔となる存在。この7月から新たに、スリランカ、チュニジア、中国出身の3人が5代目として就任しました。皆さまの地区の地区大会や米山セミナー、インターシティミーティング、奨学生の研修会などにぜひお招きください。地区行事の場合は、当会が旅費を負担します。オンラインでの参加も可能です。

お問い合わせは、米山記念奨学会事務局広報担当まで。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281 Eメール: seminar@rotary-yoneyama.or.jp



People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』8月号から



イタリア

ミラノ・インターナショナル・ネット・ロータリークラブ(RC)の会員は3月、公共施設にAED(自動体外式除細動器)を寄贈するため、スキー大会を開催。リゾート地アプリーカに、約20人の会員とその家族や友人が集まりました。「スキーをしない人たちも大勢参加し、日光浴や交流など楽しめました。1,750ドル(約25万円)以上が集

まり、市の公園に備えるAEDを購入することができました」と語るのは、同クラブのキアラ・ジュディチ元会長。10月にもクラブはスポーツ行事を通じて資金を集める活動を支援した他、50人が参加したラケットスポーツ・パデルの大会を後援。警察署にAEDを提供しました。

5位 オリンピックのアルペンスキー競技
におけるイタリアのメダル獲得数



ナイジェリア

国最大の都市・ラゴスを拠点とするグバガダ・ローターアクトクラブの会員6人が、長期間にわたって、ケトゥにある小学校のトイレの大規模な改修を行いました。ローターアクトラーらは、個人からの寄付金約1,000ドル(約14万円)を元に、屋根の一部と古くなったドア2枚を交換し、床を磨き、ペンキを塗り、レンガの壁を修繕。水洗いできるよう、配管工を雇って6カ所のトイレを既存の井戸と接続しました。「トイレは恐ろしいほど汚れていました」と、クラブ元会長のマイケル・エケリンさんは言います。このような環境は、下痢やコレラなどの病気を誘発し、児童数500人の学校での出席率を下げています。3月に完了したこのプロジェクトを含め、同クラブは昨年度中に20の奉仕プロジェクトを実施しました。

3人に1人

ナイジェリアで、生活に必要な水を使えない子どもの割合

2 番目

世界におけるインドネシア
での結核の症例数の多さ



6,000台以上

キャメロンパークRCに
よって刑務所に
提供された自転車の数

アメリカ

サクラメント地域で活動するキャメロンパークRCは、使用済みの自転車を集めて、カリフォルニア州のフォルサム刑務所に届けています。毎年500台もの自転車が受刑者によって整備された後、低所得世帯の子どもたちや、ホームレス、退役軍人、難民、山火事で家を失った家族などを支援する団体に届けられています。「自転車再生プログラムでは、受刑者が自らのスキルを提供するだけでなく、有意義な形で地域社会に貢献することができます。受刑者の更生への一歩であり、前向きな変化を生み出すためのきっかけになります」と刑務所長代理のトレイシー・ジョンソンさん。「これは関係する全ての人々に恩恵をもたらすプログラム。このプログラムを通じて、私たちは不要な自転車を引き取っており、受刑者たちも充足感を得ています」とクラブのドン・フラー直前会長は話します。



インドネシア

ジャカルタ・メトロポリタンRCは、2015年以来、高齢者や母子などを対象に、無償の健康診断を実施してきました。2月に開催された第8回となる活動では、健診の対象をホームレスの人々にも広げました。レントゲン検査の結果、223人のうち97人に結核、気管支炎、肺炎の兆候が見つかりました。そこでクラブは、これらの人々が治療を受けられるようサポート。「ホームレスの人たちが政府の保険に加入し、病院にも行けるように、市民登録サービス事務所に協力してもらった」と、クラブ会員のインネ・オンコジョジョさん。「今回の活動から、私たちは健診の必要性、特に感染ペースが速く広範囲に及ぶ結核の検査の必要性を、実感した」と、クラブの元会長であるアリー・バスセノさんは述べました。

ウルグアイ

フレイ・ベントスRCは、2016年以来、地域のイベントで320食分のパエリアを提供し、数千ドルの寄付を集めてきました。レストラン「La Tomasa」のシェフ、エドゥアルド・カサレスさんの指導を得て、会員23人が野菜を切ったり皮をむいたりして巨大な鍋でパエリアを作り、今年は約2,800ドル（約40万円）の寄付を集めました。元クラブ会長のアルフレド・バティスタ・フェルナンデスさんは、「質の高い具材が伝統的なパエリアの味も守っている」と話します。クラブでは従来、車椅子、松葉づえ、歩行器を必要とする人々に無償で貸し出す活動を行っており、料理の売り上げは、フレイ・ベントス市内各地や学校など16カ所での車椅子用スロープの設置などに充てられています。

150kg

フレイ・ベントスのイベントで
供されるパエリアで使う
野菜の量（平均）



2023-24年度 RI 理事会メンバー紹介



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー（RI）理事会には19人のメンバー（RI会長、会長エレクトならびに17人の理事）があり、ゾーンから指名され、ロータリー国際大会にて選出されます。理事会はRI定款と細則に基づき、国際ロータリーの業務と資金を管理します。2023年7月から新たな会長と会長エレクトと9人の理事が就任しました（詳細は「My Rotary」をご覧ください）。

RI会長 ゴードンR.マッキナリー



1984年入会。スコットランド・サウスクイーンズフェリーRC会員。元英国小児歯科学協会スコットランド東部支部会長。趣味はラグビー、グルメ、スコットランドの伝統的なつづくり。

佐藤 芳郎（2022-24）



1989年入会。岡山南RC会員。佐藤芳郎公認会計士事務所公認会計士。障害のある人たちによる自立した生活を支援する団体、旭川荘を個人的、またクラブと共に積極的に支援。また、渡辺和子記念ノートルダム育英財団奨学金理事を歴任。

RI会長エレクト ステファニーA.アーチック



1991年入会。アメリカ・ペンシルベニア州マクマリーRC会員。Doctors At Work社共同経営元パートナー兼最高執行責任者。さまざまな国際奉仕プロジェクトに参加。

アルベルト・チェッキーニ（2022-24）



1994年入会。イタリア・ローマ・ノルド・エストRC会員。Idroesse Engineering社唯一の経営者兼技術責任者。元ローターアクター。RI超我の奉仕賞受賞。エクササイズ、旅行、ゴルフ、読書を楽しむ。

RI副会長 パット・メリーウェザー・アルジェス



2002年入会。アメリカ・イリノイ州ネイパービルRC会員。Project Patient Care執行取締役。水と衛生のロータリー行動グループ理事。医療従事者の親睦活動グループの医療成果・患者安全委員長。

パトリック・ダニエル・チサンガ（2022-24）



1986年入会。ザンビア・ンクワジRC会員。ムハンガ・インベストメンツ経営責任者。地区初の非白人系ガバナー。元インターアクター。超我の奉仕賞受賞。

RI財務長 ドリュー・ケスラー



2001年入会。アメリカ・ニューヨーク州ノース・ロックランドRC会員。M&T銀行の商業不動産部門上席副社長。20歳でロータリーに入会、32歳でガバナーに就任。ロータリー行事への家族の参加を積極的に推進。

ジェレミー・ハースト（2022-24）



1988年入会。ケイマン諸島・グランドケイマンRC会員。IRGグループ企業所有者兼運営者。カリブ海地域におけるロータリーの災害救援活動の管理に関与。趣味はアンティーク地図収集、ラグビー観戦。

ムハマド・ファイズ・キドワイ (2022-24)



1987年入会。パキスタン・カラチ・カルサズRC会員。CG Global 社会長。パキスタン初RI 理事。元ローターアクター。ロータリー・パキスタン・リテラシー・ミッションの設立者兼委員長。超私の奉仕賞受賞。

ハンス・ヘルマン・カステン (2023-25)



2003年入会。ドイツ・アーヘン・フランケンブルクRC会員。弁護士。青少年プロジェクトに力を注ぐ。多様性とインクルージョンを推進。

レナ・マイアスコグ (2022-24)



1997年入会。ノルウェー・エネバクRC会員。ノルウェー陸軍 Defence Staff Norway 最高運営管理責任者。仕事、農場に加え、スポーツ、読書、旅行先の歴史、文化を学ぶことを楽しむ。

アニルダ・ロイ・チョウドリー (2023-25)



1995年入会。インド・コルカタ・メガシティRC会員。電気技師。ガバナー任期中に450人の新会員入会と11のクラブ創設を達成。超私の奉仕賞受賞。

アントニオ・エンリケ・バルボサ・デ・バスコンセロス (2023-25)



1996年入会。ブラジル・フォルタレザ・アラガディソRC会員。建設・エンジニアリング事業分野企業オーナー。元ロータリー青少年交換学生。『Rotary Brasil』元コラムニスト。超私の奉仕賞受賞。

ベス・スタップス (2023-25)



1991年入会。アメリカ・テネシー州メアリービルRC会員。公認会計士。地域で発達障害者や退職者を支援する各NPOの理事。趣味は読書、旅行、テネシー大学のフットボールとバスケットボール試合観戦。

ギム・ボク・チュウ (2023-25)



1996年入会。シンガポール・ブギス・ジャンクションRC会員。ベンチャーキャピタリスト、ファンドマネジャー、不動産管理会社経営。2024年シンガポール国際大会ホスト組織委員長。超私の奉仕賞受賞。

T.N.“ラジュ”スブラマニアン (2023-25)



1987年入会。インド・デオナールRC会員。インド高等法院および最高法院上級弁護士。エイズ差別訴訟や環境訴訟など無報酬活動も行う。超私の奉仕賞受賞。

イブ・コンウェイ・ガジ (2023-25)



2000年入会。イギリス・レッドブリッジRC会員。マルチメディア・ジャーナリスト。元ロータリー財団奨学生。絶滅危惧種のためのロータリー行動グループ理事。

ヨン・ホー・ユン (2023-25)



1983年入会。韓国・馬山南RC会員。韓国観光協会会長。恒久基金／大口寄付アドバイザーとして、ゾーン内に51人のアーチ・クラフ・ソサエティ会員を追加。超私の奉仕賞受賞。

ダニエルC.ヒメスパッチ (2023-25)



1993年入会。アメリカ・コロラド州デンバー・マイルハイRC会員。弁護士。地元や海外で数多くの奉仕プロジェクトに従事。

RI 事務総長 ジョン・ヒューコ



ウクライナ・キーウRC創立会員。弁護士。2011年7月から現職。RIとロータリー財団事務総長兼最高執行責任者。アメリカ・イリノイ州エバンストンにあるRI世界本部と世界6カ所の国際事務局で働く総勢約800人の職員を指揮。



RI理事、RI理事会管理運営委員会委員、合同監査委員会委員

佐藤 芳郎（岡山南）

ロータリー財団管理委員会委員、ロータリー財団管理委員会寄付推進委員会副委員長、インターナショナル・ポリオプラス委員会委員、ロータリー日本財団リエゾン管理委員

三木 明（姫路）

RI理事エレクト

水野 功（東京飛火野）

ポリオプラス日本担当アドボカシーアドバイザー

小沢 一彦（横須賀）

ロータリーコーディネーター

第1地域

橋岡久太郎（佐倉中央）

第2地域

野口 英一（甲府）

第3地域

滝澤 功治（神戸須磨）

ロータリーコーディネーター補佐

第1地域

今井 高志（弘前）

中里 公造（川口モーニング）

中野 正美（太田）

第2地域

辻 正敏（津）

若林 英博（東京麹町）

黒川 伸一（富山南）

第3地域

中川 基成（あすか）

大森 克磨（大分キャピタル）

杉川 聡（広島西南）

ロータリー公共イメージコーディネーター

第1地域

寺嶋 哲生（柏）

第2地域

神野 正博（七尾）

第3地域

丸尾 研一（神戸西神）

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

第1地域

田中 久夫（高崎）

石黒 秀司（郡山）

細淵 雅邦（浦和）

第2地域

高良 明（川崎西）

桑澤 一郎（茅野）

小林聡一郎（甲府北）

第3地域

簡 仁一（茨木）

深尾 兼好（鹿児島西）

庄司 尚史（境港）

ロータリー財団地域コーディネーター

第1地域

飯村 慎一（宇都宮 90）

第2地域

伊藤 靖祐（江南）

第3地域

永田 壮一（熊本城東）

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

第1地域

梶原 等（千葉）

中川 高志（大宮）

新保 清久（新潟万代）

成田 秀治（五所川原イヴニング）

第2地域

大谷新一郎（相模原南）

籠橋 美久（名古屋中）

第3地域

駒井 英基（佐賀南）

吉原 久司（尾道）

中野 均（堺東）

恒久基金／大口寄付アドバイザー

第1地域

細川 吉博（帯広北）

第2地域

杉岡 芳樹（相模原）

第3地域

末長 範彦（岡山）

ポリオ根絶コーディネーター

第1地域

高柳 育行（本庄）

第2地域

伊藤 雅基（駒ヶ根）

第3地域

前田 直俊（坂出東）

ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーター

水野 功（東京飛火野）

環境のための大口寄付推進計画アドバイザー

野口 英一（甲府）

2024 年シンガポール国際大会推進チームメンバー兼推進コーディネーター

服部 陽子（東京広尾）

2024 年国際協議会ラーニングファシリテーター

中谷 研一（足利東）

安間みち子（浜松ハーモニー）

中川 基成（あすか）

ロータリーカード地域コーディネーター

第1地域

鈴木 賢（仙台北）

第2地域

関 博子（東京米山友愛）

第3地域

山下 皓三（鹿児島西）

- ・ 順不同、敬称略
- ・ 2023 年 6 月時点で承認されている役職。一部の役職名が変更となる場合があります。

■ 公益財団法人 ロータリー日本財団

事務所 〒108-0073 東京都港区三田 1 - 4 - 28 三田国際ビル 24 階
Tel. 03 - 5439 - 5806 Fax. 03 - 5439 - 0405 ウェブサイト piif-rfj.org

理事長 千 玄室 (京都)

副理事長 三木 明 (姫路) 佐藤芳郎 (岡山南) 小沢一彦 (横須賀)

理事 金杉 誠 (横浜西) 宮崎茂和 (福井) 立野純三 (大阪) 大室 儼 (宝塚武庫川) 辰野克彦 (東京西)
服部良男 (愛知三州) 池田徳博 (鶴岡西)

評議員 羽部大仁 (札幌南) 飯村慎一 (宇都宮 90) 富田謙三 (京都) 橋本長平 (京都東) 舟木いさ子 (東京白金)
田中作次 (八潮) 松宮 剛 (茅ヶ崎湖南) 鈴木雅博 (市原中央) 石黒慶一 (鶴岡西)

監事 井上暎夫 (千里) 片山主水 (名古屋東南)

■ ガバナー会

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園 2 - 6 - 15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03 - 3433 - 6497 Fax. 03 - 3433 - 7395 E メール govkai@orange.ocn.ne.jp

議長 宮崎陽市郎 (東京三鷹)

副議長 栃木一夫 (東京北) 延原健二 (大阪大淀) 樋口 明 (神奈川)

顧問 RI 理事 佐藤芳郎 (岡山南)

■ 一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 (RIJYEM)

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園 2 - 6 - 15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03 - 6431 - 8106 Fax. 03 - 6431 - 8107 E メール rijyem@air.ocn.ne.jp
ウェブサイト rijyec.org

理事長 上山昭治 (東京武蔵野中央)

副理事長 片山 勉 (大阪東) 水野 功 (東京飛火野) 神野重行 (名古屋名駅)

理事 松良千廣 (仙台南) 山本和則 (新潟南) 鈴木孝雄 (東京池袋豊島東) 伊藤雅基 (駒ヶ根)
滝澤功治 (神戸須磨) 安増惇夫 (宗像) 瀧 満 (中津) 井原 實 (さいたま新都心) 保延輝文 (石岡)
沼田 廣 (青森)

監事 井上暎夫 (千里)

社員 吉田潤司 (釧路) 大日向豊吉 (函館五稜郭) 佐久間英一 (三春) 平澤孝夫 (秋田東) 川嶋幸雄 (栃木)
茂木 正 (本庄) 若林啓介 (富山) 生子哲男 (清水中央) 岡田信春 (鈴鹿シティ) 藤井秀香 (岸和田東)
刀根莊兵衛 (敦賀) 大島浩輔 (徳島プリンス) 菊池捷男 (岡山西) 晝田眞三 (福山) 田中俊實 (鹿屋)
宮崎清彰 (諫早北) 久保田英男 (鎌倉) 宇佐見透 (千葉幕張) 池田徳博 (鶴岡西) 竹内正幸 (太田)

顧問 三木 明 (姫路)

アドバイザー 近藤眞道 (高槻西) 市川伊三夫 (東京銀座) 渡邊和良 (浦和北)

■ ロータリー文庫運営委員会

事務所 〒105-0013 東京都港区浜松町 2 - 7 - 16 第 3 小森谷ビル別館 6 階
Tel. 03 - 3433 - 6456 Fax. 03 - 3459 - 7506 E メール rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp
ウェブサイト www.rotary-bunko.gr.jp

委員長 茂木 正 (本庄)

副委員長 野生司義光 (東京小石川)

運営委員 長嶺康廣 (八戸南) 藤井秀香 (岸和田東) 池田正純 (牛久) 小倉 正 (横浜) 千葉憲哉 (諫早北)
小倉純夫 (松戸) 黒川伸一 (富山南) 森本信一 (津山)

監査委員 坂本克也（京都八幡） 猿渡昌盛（東京武蔵府中）
顧問 青木貞雄（成田コスモポリタン） 菅原光志（鎌倉）
相談役 河本親秀（大磯） 高窪昭雄（浦和） 新藤信之（東京立川こぶし）
関口博正（杉戸） 戸田一誠（東京練馬西） 中村博亘（柏西） 佐久間崇源（東京目黒） 大塚信郎（上尾）
真下和男（東松山） 大野清一（横浜東）

■ ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956
Eメール：編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部 keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
電子版 www.tomo-archive.net

ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門（甲府）
副委員長 鈴木一作（寒河江）
RI理事 佐藤芳郎（岡山南） RI理事エレクト 水野 功（東京飛火野）
特別顧問 片岡信彦（土浦南） 橋本長平（京都東） 清水良夫（横浜） 片山主水（名古屋東南） 鈴木 宏（宇都宮北）
顧問 久木佐知子（旭川西） 黒川伸一（富山南） 堀川貴史（熊本南） 石川彌八郎（東京福生） 伊藤千恵（東京恵比寿）
相談役 神崎正陳（茅ヶ崎湘南） 上野 孝（横浜） 安平和彦（姫路）

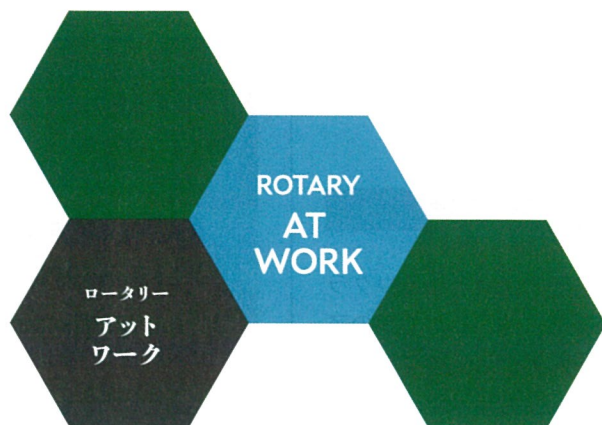
地区代表委員

2500 佐藤宗晴（紋別港）	2510 斎田義孝（小樽南）	2520 澤田一幸（仙台宮城野）
2530 相良元章（福島）	2540 村越正道（能代）	2550 熊倉 勝（佐野）
2560 森 宏（三条北）	2570 田久保眞理子（熊谷）	2770 坂巻邦夫（越谷）
2790 江上俊彦（千葉東）	2800 三浦孝一郎（山形北）	2820 高沢 彰（水戸）
2830 石川佳共子（青森）	2840 石原保幸（前橋東）	2580 半場慎一（東京新都心）
2590 田代靖之（神奈川）	2600 西堀恒司（松本）	2610 吉村伸成（白山）
2620 小林武治（静岡）	2630 名里貴志（多治見リバーサイド）	2750 門野正尚（東京城西）
2760 池森由幸（名古屋千種）	2780 中村辰雄（相模原南）	2640 中 勇人（和泉）
2650 山下尚治（京都）	2660 北井雄大（大阪平野）	2670 坂田千代子（徳島プリンス）
2680 入江智美（三田）	2690 和田史朗（松江しんじ湖）	2700 梅原 健（福岡東）
2710 山内恭輔（広島南）	2720 武内眞司（日田）	2730 尾形 栄（延岡）
2740 小西研一（佐世保北）		

編集長 野崎恭子

一般社団法人 ロータリーの友事務所

社員 佐藤芳郎（岡山南） 水野 功（東京飛火野） 栃木一夫（東京北） 宮崎陽市郎（東京三鷹）
樋口 明（神奈川） 延原健二（大阪大淀）
理事会
代表理事 高野孫左エ門（甲府）
理事 鈴木一作（寒河江） 片岡信彦（土浦南） 橋本長平（京都東） 清水良夫（横浜） 片山主水（名古屋東南）
鈴木 宏（宇都宮北） 久木佐知子（旭川西） 黒川伸一（富山南） 堀川貴史（熊本南） 石川彌八郎（東京福生）
伊藤千恵（東京恵比寿） 横山武志（東京北） 恵川一成（大宮シティ） 羽田伊助（東京目黒） 本田博己（高崎）
慶野保夫（小山中央） 野中 茂（川崎） 榊原一久（東京池袋豊島東） 渡辺 剛 野崎恭子
監事 宮嶋康明（新千葉） 高野伊久男（横浜西）



田植えから日本の食文化を学ぶ

東金RC

第 2790 地区・千葉県

スマホを片時も手放さない時代。IT機器に囲まれ、ポチッと画面上に触れるだけで買い物ができる。そんな便利な生活をしている今だからこそ、必要な体験があります。

お米という日本の食文化を崩壊させないため、土に触れ、大地とつながることで心身に湧き上がる感情を育もうと、クラブでは5月21日に「ゆる田んぼクラブ」と銘打った田植え体験を実施。当日は園児から60代まで、東金市近郊どころか、県外からも参加がありました。

食べ物を作る大変さと貴さを体感してもらうため、機械は使わず、身軽に動けない泥の中で、苗を一本一本手で植えていきます。その苗も等間隔で植えられるよう、先に木枠の升を転がして、田んぼの底に印を付けていかなくては

なりません。田植えは、力が合わさって初めて進められるもの。お膳立ては極力控えました。それもあってか、参加者はそれぞれの世代の言葉や価値観を交換することになります。そこでの学びや気づきが、年齢を問わず、社会性を獲得するきっかけにもなっていくようです。お米作りは単に食べ物を作るだけでなく、人と人を結び付け、一つの社会を形成する役割を果たしていると感じました。

泥んこになっても笑顔、汚れを洗い流す気持ち良さも、実感できました。「楽しかった」「また参加したい」との声もたくさん頂きました。当クラブの「ゆる田んぼクラブ」は、春の田植えに始まり、夏は畑で野菜や果物の収穫、秋は稲刈り後のおにぎり試食会を予定しています。



子どもたちと街頭募金 寄贈は大使館で

川口 R C

第 2770 地区・埼玉県

4月6日の例会後、J R川口駅前で3回目となるウクライナ支援街頭募金を実施。会員が経営するバレエ教室の子どもたち、東京築地 R C 会員でウクライナ民族楽器バンドウラ奏者・歌手のカテリーナさんらも駆け付け、多くの寄付金を頂くことができました。子どもたちから、募金を直接渡したいとの希望を受け、ウクライナ大使館へ。セルギー・コルスンスキー駐日特命全権大使と面会し、募金を手渡しました。昨年7月から計3回の募金で、131万6,693円をウクライナ支援のために贈ることができました。



繁華街で ポリオ根絶の募金活動

2730 ジャパンカレントロータリー E クラブ

第 2730 地区

当クラブでは創立以来9年間、鹿児島市と宮崎市でポリオ根絶のための募金活動を行っており、今年は4月9日、鹿児島市の繁華街・天文館で実施しました。

まずは立ち止まってもらおうと、子どもたちに風船を配布。活動中、地区内のロータリアンやローターアクターのOB・OGが通る場面もあり、募金にも協力してくれました。子どもの定期予防接種でポリオへの認識があるのか、家族連れの方が募金に積極的な印象を受けました。

瀬戸 R C 学友会を設立

瀬戸 R C

第 2760 地区・愛知県

当クラブでは独自に「瀬戸 R C 学友会」を設け、4月15日に設立総会を開きました。対象はクラブがお世話した米山奨学生とグローバル補助金奨学生、青少年交換学生など。当日は学友7人と家族1人の出席に加え、籠橋美久ガバナー（当時）も駆け付けてくれました。

当クラブではこれまで多くの若者を支援してきましたが、支援後の消息や近況は正しく把握できていませんでした。また、連絡可能な学友をクラブ行事に招いても、参加を遠慮しているように見受けられました。そこで、会員と学友との絆をさらに深め、ロータリーの各種行事や会合にも参加しやすくなるよう、学友会を設立することにしたのです。地区内にはすでに米山学友会がありますが、単独クラブでの学友会創設は地区初とのこと。新たな会では米山学友以外も対象にすることにしました。

総会当日は学友同士がすぐに打ち解け、交流の輪があらこちらで見られました。まさにロータリーファミリーとしての一体感を共有できました。学友たちは各方面で活躍しており、われわれ会員も、わがことのようにうれしく思いました。同時に、将来の有望なロータリアン候補になり

得るとの思いを強くしました。これからは交流を通して一層絆を深め、共にロータリーライフの充実を図っていききたいと思います。



クラブの奨学生を日本に招待

和歌山中 R C

第 2640 地区・和歌山県

第二次世界大戦で多数の民間人犠牲者を出したフィリピンで、特に青少年のために役立ちたいとの思いから、当クラブは 1991 年以降、マニラ市の南に位置するサンペドロ市に 10 カ所の保育園を建設してきました。保育園では当初から、3～5 歳の園児約 70 人に英語の初等教育や給食を提供しています。

そして保育園の第 1 期卒園生が大学進学年齢に達した 2005 年に「和歌山中 R C スカラーシップ」を立ち上げ、卒園生の中から経済的理由で進学したくてもできない若者を、毎年 1～2 人選抜。首都圏の 4 年制大学での学費、生活費全額を支援してきました。これまで 21 人に奨学金を支給し、在学中または卒業後に和歌山県を訪問する機会も提供しています。

前年度は 4 月 21～25 日、「海外は生まれて初めて」というルイサ・カサスさんを招待しました。マニラのサンファン・デ・レトラン大学を卒業したルイサさんは、私たちが日本に招待した 19 人目の奨学生です。

24 日には、岸本周平和歌山県知事と面会。県のキャラクター「きいちゃん」のぬいぐるみを知事からプレゼント

され、激励の言葉も受けて感動していました。「ロータリアンのように、私も誰かの役に立てる人になりたい」と話す彼女は今、公認会計士を目指して頑張っています。



創立記念事業と ポリオ根絶募金活動

真庭 R C

第 2690 地区・岡山県

当クラブは 4 月 8 日、創立 40 周年の記念事業として、青少年による武道演武会や記念講演会を開催。演武会では真庭市内九つの武道愛好団体から、相撲や剣道、空手、合気道、なぎなたといった日本古来の武道を学ぶ子どもたち計 106 人が参加し、日頃の鍛錬の成果を披露しました。

また、ポリオ根絶募金活動も実施。寄付をしてくれた子どもに「世界ではいまだにポリオ（小児まひ）で苦しんでいるお友達がいるんだよ」と伝えました。市民からは目標を上回る金額が集まり、感謝の気持ちで満たされました。



少額寄付は スマホを使って

岡山東 R C

第 2690 地区・岡山県

前年度のクラブ会長の運営方針「受け継ぐ伝統と未来へつなぐ ICT（情報通信技術）」を受け、クラブ内での少額寄付は、従来通りの現金による寄付金箱での受け付けに加え、スマートフォンにより電子マネーでも寄付できるシステムを導入しました。

例会時にテーブル上の 2 次元コードを読み込み、簡単な操作で寄付ができます。新しい技術により、会員の積極的な寄付（奉仕）が進んでいます。



家庭の未使用品を必要とする人へ

所沢東 R C

第 2570 地区・埼玉県

地域社会への支援法として、クラブから資金を拠出する寄付活動がある一方、お金をかけずに支援する方法もあります。今回は会員の各家庭の未使用品を活用したチャリティーを試みました。

集めるものはタオル（フェースタオルを含む）です。日常生活に必要な品で、年末年始などに頂くことも多く、福祉施設や団体でも必要とされているという観点からこの品目に決定。クラブ社会奉仕委員会の主導で、例会時2週にわたり各家庭で眠るタオルを募ったところ、200枚以上が集まりました。

そして4月27日、所沢市社会福祉協議会から2人を例会に招き、タオルを寄贈しました。招待した2人のうち、コミュニティーソーシャルワーカーの方には卓話の講師として、ヤングケアラーに関する話もしていただきました。

同協議会では例会後すぐに、高齢者や障害者の施設や、子ども食堂や学習支援など、子どもの居場所づくりを行う団体などにタオルを配布。多くの関係者からお礼の言葉がクラブに届きました。

会員の経済的負担も少なく、コロナ禍で例会などへの出

席を控える会員からも「こうした活動なら参加できる」と好評でした。今後も同様の企画を考えていきたいと思っています。



動物と共生できる 街づくりのために

大分城西 R C

第 2720 地区・大分県

クラブは4月9日に大分市内で、動物たちとの触れ合いを通して命の大切さを学び、人と動物が共生できる社会を目指すことを目的に「おおいたアニマルミーティング」と銘打ったイベントを開催しました。訪れた市民には、演奏会「わんこのための音楽会」をはじめ、講演会やしつけ教室、ペットとの記念撮影会など多くの催しを通じ、楽しみながら学びを得てもらいました。

創立 70 周年で チャリティーコンサート

津島 R C

第 2760 地区・愛知県

当クラブは創立70周年を記念し、4月8日に愛西市で、日本を代表するカウンターテナー歌手・村松稔之氏によるチャリティーコンサートを開催しました。約3年間のコロナ禍の中、文化事業、とりわけ生の演奏に接する機会が減ったと考え、国内トップレベルの音楽に触れる貴重な機会を提供しようと企画。約400人の聴衆に楽しんでもらいました。なお、収益の一部は地域の青少年育成、さらに世界中の難民支援のために寄付しました。



座禅にお茶、日本の文化を体験

高槻西 R C

第 2660 地区・大阪府

当クラブは 4 月 2 日、3 年間休止していた座禅とお茶の会を再開しました。会場は高槻市の北にある神峯山寺^{かみさんじ}です。地区青少年交換委員会と共催して毎年開催してきた会で、派遣および受け入れのロータリー青少年交換学生を招き交流してもらい、同時に日本の伝統文化としてのお茶と座禅を体験してもらおうという事業です。

しかし、コロナ禍で受け入れ学生がおらず、代わりに市内の中学生を招いて、ロータリーの青少年交換事業について知ってもらうという、新たな目標を設定しました。結果、中学生 39 人が参加し、同伴の保護者とロータリー関係者を含め総勢 100 人以上が参加する会になりました。

開会式では宮里唯子ガバナー（当時）が「ロータリークラブとは何か」「若い人たちのためにどんなことをしているのか」など、中学生にも分かりやすく説明。その後、いくつかのグループに分かれ、昼食を挟んで午前と午後にそれぞれ座禅とお茶会を体験してもらいました。終了後、境内の化城院護摩堂に移動し、護摩法要も体験。ほの暗い堂内に浮かび上がる火炎と、響き渡る太鼓の音がとても幻想的でした。



* ロータリー青少年交換プログラム (Rotary Youth Exchange)

国際理解と平和を推進するため、15 ～ 19 歳の青少年が海外の国を訪問したり留学したりする機会を提供するものです。長期交換 (1 学年度) と短期交換 (数週間程度) があります。

地区グループ合同で海岸美化

鹿児島市内 A・B グループ

第 2730 地区・鹿児島県

4 月 22 日、日本三大砂丘の一つとされる南さつま市の吹上浜で、鹿児島市内 A・B グループ計 12 クラブによる「ロータリー奉仕デー 海岸美化プロジェクト」を実施。会員と家族、インターアクターと一般市民も含め、総勢約 180 人が参加しました。

開会式では、鹿児島大学の藤枝繁教授からごみ拾いにまつわるミニ講義。単にごみを拾うだけでなく、「なぜ海的环境美化が大切なのか?」「汚すことでどうなるのか?」と前置きがあり、「吹上浜を清掃することは、日本の海、ひいては全世界の海を清掃することにつながる」との説明を受けました。

その後は快晴の空の下、4 人 1 組で海岸約 2km を清掃しました。一番多かったのはプラスチックごみ。プラスチック製品は生活を便利にする一方で、ポイ捨てなどにより海も汚し、生き物たちに悪影響を及ぼしているようです。

当日は地元のテレビ局などからの取材も受けました。それに応じた鹿児島サザンウインド R C の水流純大会長（当時）は「市民一人一人の海洋ごみ問題に対する意識向上、環境問題に少しでも関心を持ってもらうことがロータリー

の活動の目的です」と述べ、ロータリーの存在意義を力強く発信することができました。



長浜東RC杯長浜チャレンジボウル

長浜東RC

第2650地区・滋賀県

3月26日、フラッグフットボールの振興と子どもの健全育成を目的に、長浜フラッグフットボール協会の主催、当クラブの共催で「長浜東RC杯長浜チャレンジボウル」を開催しました。

フラッグフットボールとは、アメリカンフットボールを起源とし、その戦略性はそのままに、少人数、省スペースで行うことができ、タックルの代わりに選手の両腰に着けたフラッグを取ることで安全に楽しむことができるスポーツです。実は、地元の長浜市は日本のアメリカンフットボール発祥の地といわれ、戦後からの長い歴史があります。その流れを受け、当クラブは2009～10年度に長浜市内の小学校にフラッグフットボールの用具を寄贈。その後、14～15年度からは市内全ての小学校が、授業にこのスポーツを取り入れることになりました。

今大会には県内外から5クラブ7チームの小学生が参加し、小雨の降る中、熱戦を繰り広げました。当クラブからは優勝カップと大会横断幕を寄贈しました。会員たちは大会運営を支え、表彰式で吉田豊会長（当時）が優勝カップを授与しました。来年以降も継続し、子どもたちの健全

育成だけでなく、地域のスポーツ振興と地域活性化の一翼を担うことになればと期待しています。



コロナ禍を契機に新事業に挑戦！

春日部RC

第2770地区・埼玉県

クラブは4月23日、小学4年生以上を対象に「春日部RC杯小学生3×3バスケットボール大会」およびバスケットボールの指導教室を初開催。コロナ禍で過去の継続事業を中止せざるを得なくなり、新たな挑戦をしようと準備を重ねてきた事業です。

当クラブには、女子バスケットボール日本代表として、オリンピック出場経験を持つ小磯典子会員がいることに加え、小磯会員とも縁のある男子プロバスケットボールチーム・越谷アルファーズが春日部市を練習拠点にしており、協力が得られたこと、さらに春日部市バスケットボール協会、共栄大学女子バスケットボール部などの協力も得て、実施することができました。

当日の試合前には、プロ選手が大学生を相手に模範のプレーを披露するなど、大会を盛り上げてくれました。試合も白熱し、歓声が体育館にこだましました。今も地域に漂う閉塞感を吹き飛ばすべく、新事業を通して、地域に貢献していきたいと考えています。

コロナ禍は、これまでの継続事業を検証し直す良い機会ともなりました。クラブの新陳代謝を促し、活性化にもつ

ながったのでは、と思っています。





ゴールはクラブの自立

結成：1984年3月15日 会員数：40人
例会日：第1・3木曜日 19:30～20:30
スポンサークラブ：名古屋南・名古屋東南・
名古屋瑞穂・名古屋名南RC



上：名古屋国際センタービルの研修室で行われる例会
左、右下：「Walk in Blue」。
おそろいの青いシャツを着て、
歩きながら環境を学ぶ



名古屋熱田ローターアクトクラブ（RAC）は、3月4日、チャリティーウォークイベント「Walk in Blue」を企画。名古屋市小幡緑地公園を歩き、自然の中で環境について学びました。先年、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブになりました。スポンサークラブに頼らず、全て自分たちでプロジェクトを実施しようという機運が高まったクラブでは、実行予算の半分以上をクラウドファンディングで調達し、もう半分は寄付を募りました。チャリティーで集まった資金の7割にあたる約23万円は、NPO法人藤前干潟を守る会へ寄付し、残りは次のイベント予算へ充てます。このサイクルを繰り返すことで、ローターアクトクラブが自立して奉仕活動を継続することが可能になります。

活動を継続するためには、会員増強・維持も大切。これまでの入会者は、紹介や企業派遣によるものがほとんどで、入会に至りやすいものの、年度によって紹介者数にバラつきが出るため、会員数が安定しないという課題がありました。

そこで、ロータリーやローターアクトに全く接点のない人へアプローチ。この方法で会員数を安定させようと、ボランティア情報サイト「アクティボ」にクラブの紹介ページを出し、問い合わせがあった人に対し、オンラインで説明会を実施。例会への参加を案内し、希望者には入会申込書を送る、という流れをつくりました。この取り組みを始めて3年がたちますが、毎年新規で10人ほどの会員を迎え、当初15人だった会員が今では40人になりました。

POINT

自立したクラブ活動の
仕組みづくりを目指す

今後の課題は、どうしても特定の会員に頼り切ってしまうクラブ運営の改善。誰でも運営できるクラブの仕組み、マニュアル化した活動モデルを構築中です。私たちの活動にご期待ください。（名古屋熱田RAC 柿本知樹）

Let's Collaborate

クラブ連絡先：nagoyaatsuta2760rac@gmail.com
ウェブサイト：nagoya-atsuta-rac-3.jimdosite.com

あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

NEW GENERATION

ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

子どもに科学の面白さを

ローターアクター ビャムバドルジ・アナラ

19歳で母国モンゴルを1人で出発したのが、つい最近のことのように思えます。当初は日本の大学を卒業したら、ドイツなどヨーロッパの大学院へ進学しようと考えていました。しかし、住んでいるうちに日本での生活にすっかり慣れ、福島県は第二の故郷とも呼べるまでに、この地で職に就こうと考えるようになりました。

私は幸運にも米山奨学生に選ばれ、専攻の分析化学の勉強に全力で励むことができました。大学では実験科目が多く、毎日が楽しかったです。手に取った試薬を化学反応させて目視で確認し、分析機器の測定結果を確認。うまくできていると分かったら、うれしくなりました。

米山記念奨学事業を通して出合ったロータリーに憧れ、その後ローターアクターになり、クラブ会長も務めました。社会人になる前にリーダーとして活動できたこ

とは、自分にとって大事な経験でした。会長年度に、人の協力を得るための話術を磨きました。今後もアクターとして国際奉仕をしていきたいです。

日本に来て気付いたことがあります。モンゴルでは理科教育に実験があまり取り入れられていないことです。私が科学にのめり込めたのも、実験が面白かったから。子どもは本を読んだだけでは、自然現象を理解するのに限度があります。その結果、難しそうだと、理系の学問を避ける子どもが増えていったのです。モンゴルの発展のためにも、子どもたちに科学に興味を持ってもらえるように活動していきたいとも考えています。



モンゴル出身。福島大学大学院共生システム理工学研究科博士前期課程2年生。福島中央RAC会員。米山奨学期間：2020年4月～22年3月。世話クラブ：福島中央RC。趣味：洋画観賞、カラオケ、登山。

対話による世界平和を

インターアクター ノローナ・アレキサンダー



私の夢は、紛争予防や解決のために自分の力を発揮できるようになることです。そう考えるようになったのは、歴史が好きだからかもしれません。歴史を学ぶと、世界の複雑さが見えてきま

す。これまで生きてきた人々の思いが、現在でも引き継がれていると感じることもあります。そこが面白いところ。しかし、ひとたび紛争が起きてしまうと、その歴史の複雑さが、解決を難しくする理由にもなります。今後大学に進学したら、地政学や法学を学び、世界に貢献できる人間を目指したいと思います。

高校生活では歴史や対話をテーマに探究する日々です。歴史の面白さを伝えるために中学校で出前授業を行ったり、下級生の活動に関わったりしてきました。

インターアクトクラブでは、ウクライナを支援するための寄付を呼びかけた際、「ウクライナ侵攻をひもどく」と題して、7世紀ごろから現在までの歴史を解説する場をつくりました。参加者から「もっと知りたくなった」という声をもらった上に、寄付もたくさん集めることができました。

こうした活動を通じ、改めて気付いたのは、人に伝えたり話したりすることの大切さです。人々には違いや共通点があるのが当たり前です。「人がそう考えるのはなぜか?」「一致点はどこか」と探ることは、新たな発見や発明のような面白さがあります。こうしたことを大切にしながら、将来の夢に向かっていこうと思います。

スラヴ系日本人。北海道札幌市在住。札幌龍谷学園高校3年生。同校IAC会員。趣味は歴史を学び、日々の国際情勢を知ること。映画や音楽はジャンルを問わず好き。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

難易度 ★★★★★

4					7		2	
		1	3				6	8
	8			5				
	4					6		
5			9		6			1
		9					7	
				7			1	
9	7				4	8		
	6		8					9

ルール

- ① まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ② タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

問題

二重枠に入った数の合計はいくつでしょう？

答え

おなじみのデザイン！

これで『友』電子版もスラスラ読める



毎月10人に
三菱鉛筆 uni タッチペンを
プレゼント!!

◆パズルdeロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「8月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2023年9月11日（月）必着（当選発表は11月号）

●パズルdeロータリー（5月号）の答えと当選者は、横組みP43に掲載しています。

詰め将棋



出題

日本将棋連盟
宮田敦史 七段

ヒント

合駒を取る
9手詰め 5分で2級

●詰め将棋の解答は、横組みP43に掲載しています。
（※詰め将棋にはプレゼントはありません）

	5	4	3	2	1	
一			飛		昼	【持駒】 桂
二						
三				角	王	
四			飛	卒	桂	
五						
六						



*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）
世界本部の所在地です

ロータリーにおけるラーニング体験の向上のために

ロータリーにおける学びのアプローチは、研修モデルからラーニングモデルに移行しつつあります。これは、参加者を活動の中心に据えるというR Iの行動計画の目標の一環であり、会員自らが積極的にラーニング（学び）に関与し、それを自らコントロールできるようになることを意味します。また、ロータリーにおけるリーダーの役割は、会員が知るべき情報を教える「講師」ではなく、会員がアイデアを共有できるよう導く「ファシリテーター」としての役割を担うことを意味します。

ロータリーのオンラインコースは現在、ユーザー自身のペースで基礎的な情報を学べるものとなっております。その知識を土台として、情報を分かち合い、進行役付きのディスカッションや少人数のアクティビティーといった対面式セッションの体験をさらに充実させることができます。ロータリーが作成している対面式セッション用の「指導者用手引き（リーダーズガイド）」は、この移行を反映した内容となっております。

あるトピックについて学び、スキルを高めるための「正しい方法」はありません。そのため、ロータリーが提供する多くの資料は複合的なアプローチを取り入れています。

ファシリテーション（進行、学びのプロセスの支援）を優先する「ラーニング」の文化に移行するに当たり、以下の役職名も変更されることとなりました。

従来の役職名	7月1日からの新しい役職名
クラブ研修リーダー	クラブ・ラーニングファシリテーター
地区研修リーダー	地区ラーニングファシリテーター
地区研修委員会	地区ラーニング委員会
国際協議会研修リーダー	国際協議会ラーニングファシリテーター
地域リーダー研修セミナー	地域リーダー・ラーニング行事

なお、規定審議会を経る変更が必要な行事名については、まだ変更が加えられていません。このアプローチについてラーニング委員会と協力していくほか、規定審議会の承認を必要としないその他の役職名の変更は、『ロータリー章典』への追加編集と理事会決定も必要となります。今後数年間にわたり、ラーニング委員会、理事会、規定審議会と共にこれらに取り組み、変更を加えていくこととなります。

-Rotary International

今後のR I 国際大会

2024年5月25～29日

シンガポール

(以下、予定)

2025年6月21～25日

カナダ・カルガリー

2026年6月13～17日

台湾・台北

2027年6月5～9日

アメリカ・ハワイ・ホノルル

統計

全世界ロータリアン総数

1,201,101人

クラブ数 37,183 クラブ

地区数 520 地区（2023 - 24年度）

国と地域 200以上

ローターアクト会員数 175,301人

クラブ数 11,283 クラブ

国と地域 160以上

インターアクト会員数 311,121人

クラブ数 13,527 クラブ

国と地域 150以上

2023年6月15日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

R IのSNSアカウントはこちら

国際ロータリー
@Rotary



野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：

GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）

polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/（2023年6月28日現在）

		2023年	2022	2021	2020
常 在 国	パキスタン	1	20	1	84
	アフガニスタン	5	2	4	56
非 常 在 国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		6	30	6	140



RI 指定記事

シンガポール国際大会

グリーン・インスピレーション

シンガポールは、気候変動に対応するためのイノベーションで世界にインスピレーションをもたらし、あらゆる面で環境に配慮した創造力を発揮しています。そのため街の至る所で、環境を守るためのさまざまな工夫を発見できます。建物やその屋上を植物で覆うことで建物の温度を下げ、住民の徒歩圏内には、公園が多数設置されています。

2024年ロータリー国際大会の開催地となるシンガポールは、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「生きた実験室」。2030年までに100万本の植樹、太陽エネルギーの導入量の400%増加、廃棄物の埋め立て処分量の約3分の1削減、内燃自動車の増加抑制を目標としています。その他にも、一滴残らず再利用する水リサイクル、焼却廃棄物の建設用砂への転換、屋内での垂直農場による食料増産、風の通り道を強化する微気候モデリング、緑のホットスポットの調査など、環境保護のためのさまざまなプログラムや計画があります。

シンガポールはその環境に優しい経済を、成長と新たな雇用を生む力と見なしています。5月25～29日、この「公園の中の都市」を訪れ、環境を支える友として世界と希望を分かち合いましょう。

国際大会の参加登録はこちら
convention.rotary.org/ja



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

未来へと支援を広げる

今年度、ロータリー財団について大胆に考えを巡らせることを皆さまにお願いします。目標を達成し、インパクトを生み出すためには、既成概念にとらわれずイノベーションを受け入れ、将来にわたり私たちの支援活動を拡大するための、大胆な計画を立てなければなりません。ロータリー財団の補助金を利用したプロジェクトについて、大胆に考えることから始めましょう。財団の地区補助金やグローバル補助金事業に参加したことのないクラブは、今年度こそぜひご参加ください。ロータリーの7つの重点分野のいずれかを通じ、他地区の会員と協力することで、想像以上のインパクトをもたらすことができます。ロータリーショーケース (rotary.org/showcase) を活用したり、クラブと地区ロータリー財団委員長が話し合う機会を設けたりしましょう。今年度は、引き続きポリオ根絶のための活動についても考えましょう。10月24日の「世界ポリオデー」に向け、活動の計画を立て、ローターアクトクラブとロータリークラブと力を合わせて過去最高の資金調達を達成できるよう、頑張りましょう。

財団について大胆に考えるということは、財団を通じてロータリーのインパクトを、年度を超えて生み出すということでもあります。このことは補助金プロジェクトにおける持続可能性を強調するだけでなく、大規模プログラム補助金のような取り組みにも表れています。第3回となる大規模プログラム補助金は、子宮頸がんの撲滅という大きな課題への取り組みを通じて、エジプトの人々への啓発や予防医療へのアクセス改善を推進し、女性の健康の向上を目的としています。成功の秘訣は、パートナーと緊密な協力関係を築き、実証済みの方法をさらに発展させるというアプローチにあります。ロータリー財団は毎年、会員が主導し、3～5年かけて規模を拡大し、より多く成果をもたらす可能性のあるプログラムに200万ドルを授与しています。この補助金を通じ、持続可能なパートナーシップを築き、資金提供の期間を超え、実質的な恩恵をもたらす費用対効果の高いプログラムの構築を目指します。

最後に、世界をより良い場所にするための私たちの活動は、私たちの次の世代以降も続くべきものであることを忘れてはなりません。2025年までに、ロータリーの恒久基金が20億2,500万ドルに達することを目指している今、基金に寄付したり寄付の誓約を行ったりすることで、どのようなレガシーを残せるかを考えてみましょう。現在、恒久基金を支援することで、会員がさまざまな形でポジティブな変化をもたらしているように、未来の会員も、ロータリーの活動を実現していくことができるのです。

BARRY RASSIN

2023-24年度ロータリー財団管理委員長

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定

私の一冊 ★

会員お薦めの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★

『友』誌についての感想・意見を150字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

うちの子 ★

ペットを写真で紹介。ペットの名前と、100字以内の紹介文。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇 ★

1カ月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。歌壇・柳壇は投稿フォームから受け付け可。

ロータリー・アット・ワーク ★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。写真(集合・記念写真不可)と150～600字程度の説明文。必ず活動日を入れ、活動後1カ月以内にご投稿ください。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★

2種類のパズル(数独、パズル)を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは原則、発行月翌月の10日。

★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿フォーム rotary-no-tomo.jp/form.php

内外よろず案内

みんなで囲碁を楽しみませんか？

— 第21回ロータリー全国囲碁大会 —

ロータリー囲碁同好会(GPFR)

全国から老若男女の囲碁好きが集結する本大会は、初級者(初段以下)、中級者(2～4段)、上級者(5段以上)の3クラス制で、持ち時間1時間の早碁戦。対局方式はスイス式トーナメントで全4局を予定しています。3クラスとも4位までを入賞とし、表彰式で盾を授与します。

個人戦のほか、同一クラブ2人の得点による「クラブ対抗戦」も行いますので、クラブ内のご友人をお誘いください。ロータリアンのご家族や、初心者も歓迎です。参加はメイクアップになります。



■開催概要

主催	ロータリー囲碁同好会(GPFR) 日本支部
ホストクラブ	東京ロータリークラブ
共催	第2580地区、第2750地区
期日	2023年10月21日(土) 登録受付 9:30～ (申し込み締め切り:10月14日)
会場	日本棋院 東京本院1階対局場 (東京都千代田区)
登録料	7,000円(昼食代を含む)

本会は2000年3月に発足。日本で初めて国際ロータリーに公認されたロータリー親睦活動グループです。参加希望の方は、氏名、年齢、地区、クラブ、級段位、電話番号、FAX番号を明記の上、GPFR日本支部宛てに、FAXでお申し込みください。参加要項をFAXで返信します。

◇お申し込み・お問い合わせ

ロータリー囲碁同好会(GPFR)日本支部
FAX:03-3452-1652
GPFRウェブサイト:www.gopfr.org

パズルdeロータリー 5月号の答え

正解は「3種類」

群馬 鳥取 熊本 鹿児島

みやぎ さいたま いしかわ ひょうご とっとり くまもと

■解説

「形があって色がなく、東はあって…」は、日本の47都道府県名のこと。その中に、漢字では、馬(群馬)、鳥(鳥取)、熊(熊本)、鹿(鹿児島)の4種類いて、ひらがなでは、やぎ(みやぎ)、さい(さいたま)、しか(いしかわ)、ひょう(ひょうご)、とり(とっとり)、くま(くまもと)と6種類いる。そのうち、どちらにもいるのは、鳥・熊・鹿の3種類。

応募総数 61人 正解者 28人

当選者(敬称略・順不同)／石渡勝朗(川崎大師RC)、河人宗寿(多治見リバーサイドRC)、藤田千加子(広島西RC)、倉林弘明(東京日野RC)、阿部康人(三沢東RC)、山之氏秀行(鹿児島西RC)、小林正樹(松本東RC)、大平昇(高松RC)、萩田均(諏訪湖RC)、高橋宣充(札幌清田RC)

◆P39 詰め将棋の答え◆

▲2五桂△同步▲1二角成△同香
▲3三飛引成△2三金▲同龍△同玉
▲2四金まで9手詰め

この問題に関するお問い合わせは、往復はがきに、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9(公社)日本将棋連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係までお送りください。



【持駒】なし

◆解説◆

初手▲1一飛成と取っては△2三玉で詰まない。▲2五桂が好手。対して△2三玉は▲3三飛引成以下詰み。△同步と取らせて▲1二角成～▲3三飛引成とすれば△2三金の一手で、取って頭金までの詰み。

内外よろず案内

会員の脚本・演出によるDVDプレゼント!

——「ポール・ハリスの事務所にアル・カポネが!?」

三島西ロータリークラブ



今から25年前、三島西RCで親睦一座を結成。歌舞伎、新国劇からミュージカルの名場面など、10作品の脚本を会員の諏訪部敏之さんが担当、会員が演じてきました。今回クラブ創立50周年の記念式典で、初めてのオリジナル作品「ポール・ハリスとアル・カポネ」を上演。諏訪部さんは本番を待たずして亡くなり、追悼公演になりましたが、台湾から招いた姉妹クラブの会員からも大喝采の出来栄。自画自賛ながら完成度も高く、公演を収録したDVDはご希望の方に無料でお届けします。役になりきり、熱くなった会員の勇姿をぜひご覧ください。

■演劇概要

題名	ポール・ハリスとアル・カポネ
脚本・監督	諏訪部敏之、室伏勝宏
出演者	三島西RC会員12人
あらすじ	「ロータリーはギャング、アル・カポネが暗躍するすさんだシカゴで創立」というのは一つの事実。この物語では、理想を掲げ活動を始めたハリスの事務所へ、「俺も慈善事業をやってるんだ。あんたの奉仕の思想にほれ込んだ。ロータリーに入れてくれ」とカポネが訪れる場面から始まる……。ハリスの理想とカポネの暗黒街を対比しながら、歴史に基づきつつ、ウィットと駄じやれに富んだ芝居が展開される。
申し込み	三島西RC 室伏勝宏 ☎090-3250-7399



地区別クラブ数・会員数一覧表

(2023年5月末現在)

地区	R C 数	会員数	22年5月末 会員数
第 2500 地区	66	2,249	2,212
第 2510 地区	69	2,406	2,407
第 2520 地区	77	2,092	2,121
第 2530 地区	63	2,243	2,254
第 2540 地区	40	1,119	1,127
第 2550 地区	48	1,641	1,671
第 2560 地区	54	2,014	2,030
第 2570 地区	50	1,600	1,598
第 2770 地区	74	2,360	2,370
第 2790 地区	82	2,706	2,693
第 2800 地区	49	1,517	1,534
第 2820 地区	55	1,885	1,860
第 2830 地区	40	1,114	1,129
第 2840 地区	45	2,051	2,071
第 2580 地区	72	2,994	2,905
第 2590 地区	52	1,865	1,883
第 2600 地区	52	1,875	1,922
第 2610 地区	64	2,505	2,536
第 2620 地区	74	2,888	2,861
第 2630 地区	73	3,088	3,073
第 2750 地区	98	4,614	4,598
第 2760 地区	84	4,652	4,668
第 2780 地区	67	2,379	2,267
第 2640 地区	65	1,595	1,626
第 2650 地区	96	4,327	4,345
第 2660 地区	78	3,515	3,500
第 2670 地区	74	2,901	2,925
第 2680 地区	70	2,559	2,581
第 2690 地区	65	2,928	2,957
第 2700 地区	60	3,112	3,113
第 2710 地区	72	3,173	3,113
第 2720 地区	74	2,381	2,389
第 2730 地区	68	2,343	2,355
第 2740 地区	55	2,098	2,099
34 地区合計	2,225	84,789	84,793

日本のロータリー
会員数 84,523 人
クラブ数 2,216

(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 2750 ク
ラブ数・会員数は、P B グ
ループ 9 R C 266 人 (北マ
リアナ諸島・グアム・ミクロ
ネシア・パラオ)を含みます。
P6「日本のロータリー」数は
34 地区合計から P B グループ
を引いた数。22 年 5 月末
P B グループ 9 R C 会員数
282 人。

地区会員数修正 7 月号横
組み P61 (4 月末) 表中、
2760・4,611 人、34 地区合
計会員数: 84,378、表外と
P4「日本のロータリー」最
終行会員数 84,111 人。

ご案内 左記一覧表は、3
つの地域順で色分けしてあり
ます。表中の左端の色と、横
組み P 45 奥付の日本ロータ
リー分布図の色を対照し、ご
覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロー
タリー資料館」にデータ修正
後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリー衛星クラブ

大阪梅田コネクト (2660・大阪府)

2023 年 6 月 6 日認可 会員数: 8 人

スポンサークラブ 大阪梅田

例会日: 第 1・3 火 19:00

例会場: レジデンストレゾールデュー

議長: 荒尾辰之 幹事: 橋本一範

インターアクトクラブ名称変更

旭川大学高校→旭川志峯高校

(2500・北海道)

提唱クラブ 旭川東北

承認: 2023 年 5 月 16 日

弥栄高等学校→相模原弥栄高等学校

(2780・神奈川県)

提唱クラブ 相模原グリーン

承認: 2023 年 6 月 16 日

新ローターアクトクラブ

金城大学 (2610・石川県)

提唱クラブ 白山石川

結成: 2023 年 5 月 12 日

◆ご案内 『友』電子版 (アーカイブを
含む) 閲覧には、クラブ個別の ID・パ
スワードが必要です。ID・パスワ
ードは、半期ごとにクラブへご郵送する請
求書右下に印字しており、パスワードの
み半期に 1 度、変更されます。詳細は
本誌 7 月号に同封の A4 版案内状「電
子版パスワード変更のお知らせ」を、
ご覧ください。

◆2023-24 年度版『ロータリー
の友手引書』刊行 本誌 8 月号
に 1 冊同封し、各クラブへお送
りしました。友ウェブサイトから
ダウンロード (www.rotary-
no-tomo.jp/download/tomo_
tebiki.pdf) もできます。9 月の
ロータリーの友月間の卓話資料
としても、ご活用ください。

ロータリーの友 9 月号主要記事予定

横組み ロータリーの友月間『友』が作られるまで

縦組み 読み書きが苦手な子どものために

大阪教育大学名誉教授 竹田契一

この人訪ねて 故金正司さん (岐阜中 R C)



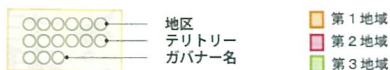
◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

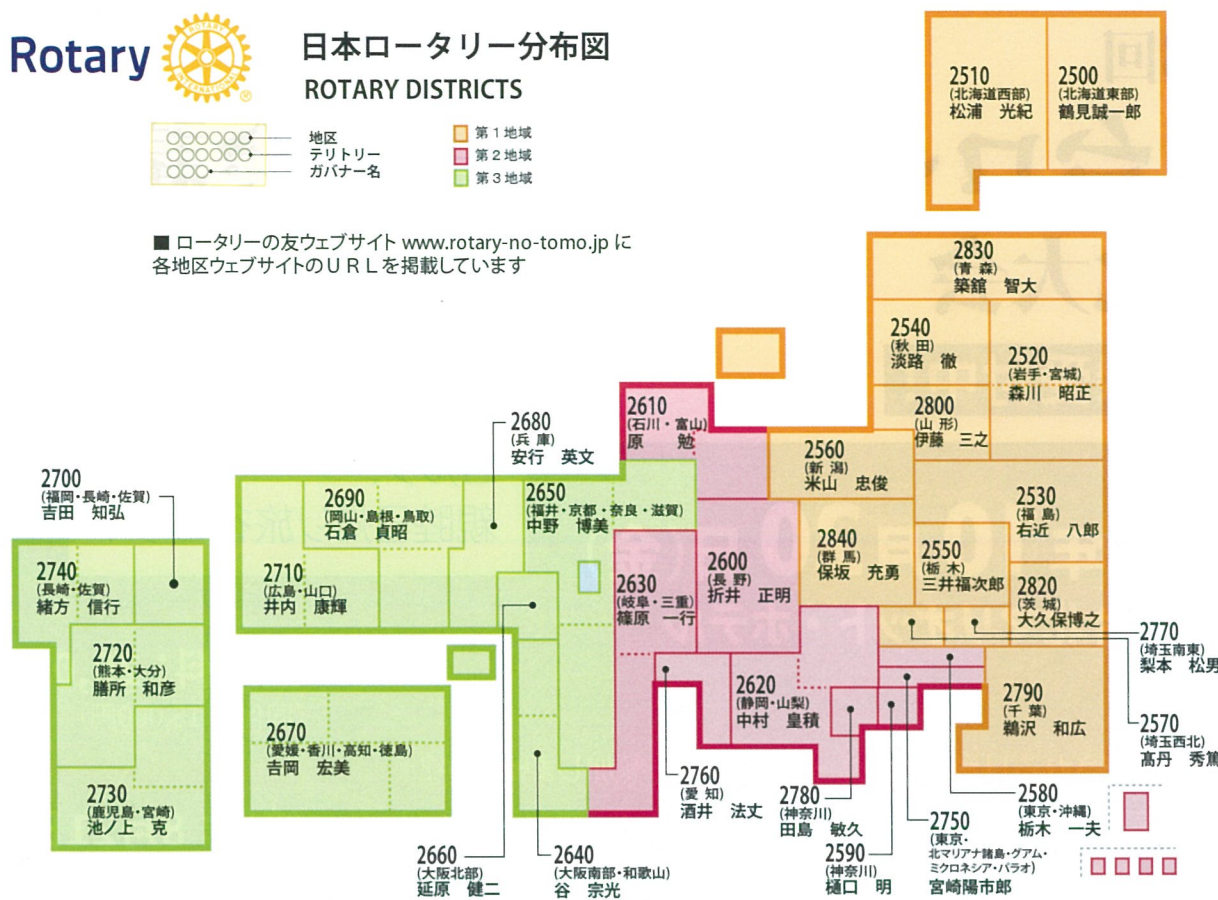
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門 (甲府)
副委員長 鈴木 一作 (寒河江)
R1理事 佐藤 芳郎 (岡山南)
R1選任 水野 功 (東京飛火野)
特別顧問 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)

顧問 久木佐知子 (旭川西)
黒川 伸一 (富山南)
堀川 貴史 (熊本南)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
相談役 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
地区代表委員 2500 佐藤 宗晴 (紋別港)
2510 斎田 義孝 (小樽)

2520 澤田 一幸 (仙台宮城野)
2530 相良 元章 (福島)
2540 村越 正道 (能代)
2550 熊倉 勝 (佐野)
2560 森 宏 (三条北)
2570 田久保真理子 (熊谷)
2770 坂巻 邦夫 (越谷)
2790 江上 俊彦 (千葉東)
2800 三浦孝一郎 (山形北)
2820 高沢 彰 (水戸)
2830 石川佳子 (青森)

2840 石原 保幸 (前橋東)
2580 半場 慎一 (東京新都心)
2590 田代 靖之 (神奈川)
2600 西堀 恒司 (松本)
2610 吉村 伸成 (白山)
2620 小林 武治 (静岡)
2630 名里 貴志 (多治見リバーサイド)
2750 門野 正尚 (東京城西)
2760 池森 由幸 (名古屋千種)
2780 中村 辰雄 (相模原南)
2640 中 勇人 (和泉)

2650 山下 尚治 (京都)
2660 北井 雄大 (大阪平野)
2670 坂田千代子 (徳島プリンス)
2680 入江 智美 (三田)
2690 和田 史朗 (松江しんじ湖)
2700 梅原 健 (福岡東)
2710 山内 恭輔 (広島南)
2720 武内 真司 (日田)
2730 尾形 栄 (延岡)
2740 小西 研一 (佐世保北)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第71巻8月号

2023年7月31日印刷
2023年8月1日発行

定価275円
(本体価格250円 送料別)

振込先

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店

口座番号 (普通) 7450015

郵便振替 口座番号 00180-8-694591

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 佐藤 芳郎 (岡山南)
水野 功 (東京飛火野)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
樋口 明 (神奈川)
延原 健二 (大阪大淀)

■理事会

代表理事 高野孫左エ門 (甲府)
理事 鈴木 一作 (寒河江)

理事 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
矢口 信哉 (東根)
小林聡一郎 (甲府北)
塚崎 寛 (長崎中央)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
横山 武志 (東京北)
恵川 一成 (大宮シティ)

理事 羽田 伊助 (東京目黒)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
榊原 一久 (東京池袋豊島東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
野崎 恭子
監事 宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

■職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
副所長 渡辺 剛
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
黒野 穂二
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

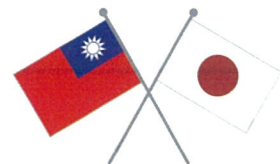
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)
表紙題字 加藤光峰
表紙編集 スタジオ ジングル・ジム

●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部/本誌の内容・投稿)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部/購読・注文)
<http://rotary-no-tomo.jp>





第8回

日台ロータリー親善会議 台北大会

ご登録受付中!

10月19日には、
ゴルフ、
親睦日帰り旅行あり!

2023年10月20日(金)

会場 台北マリオット・ホテル

ニイハオ!

台北で開催される日台ロータリー親善会議に参加しませんか?
日台親善会議は、日本と台湾のロータリークラブの親善友好を目的とした会合で、2008年に第1回大会が東京で開催されて以来、日本と台湾で交互に開催し、ロータリアンの親善交流が深められています。

本会議の前日に、オプションでゴルフ大会、親善日帰り旅行も企画されています。台湾でロータリアンと交流するよいチャンスです。台湾のクラブと姉妹・友好締結をされているクラブはもちろん、これから締結を考えているクラブ、台湾に興味のある人は、ぜひご参加ください。登録受付は先着600人です(日本からの参加者)。

登録料: 20,000円

(同伴者 15,000円)

締切: 8月21日

各クラブでクラブ用申込用紙に記入の上、地区ガバナー事務所にお申し込みください。

■ 開催概要

名称	第8回日台ロータリー親善会議台北大会
日時	2023年10月20日(金)
場所	台北マリオット・ホテル
内容	式典、親善晚餐会
スケジュール	14時半～ 受付開始/16時～ 開会・式典/18時50分～ 親善晚餐会
登録料	ロータリアン2万円(同伴者1万5,000円)
申し込み	クラブ事務局を窓口にして、各地区ガバナー事務所を通じてご登録ください
締め切り	2023年8月21日(月) 必着
問い合わせ先	第8回日台ロータリー親善会議台北大会受付事務局 担当: 長與博典、太田和 rotary2023@toyo-bs.co.jp

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

22 47

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

阪神甲子園球場

阪神園芸（株）代表取締役社長 久保田晃司

1905年に開業した阪神電気鉄道は、当初から不動産など沿線上での多角経営を展開し、スポーツ施設構築もその一つ。16年に鳴尾球場を開き、翌年の第3回全国中等学校優勝野球大会を催しました。野球熱の高まりにより、より大きな球場が望まれました。そこで22年、当時氾濫を繰り返していた武庫川の改修費用を必要としていた兵庫県から、民間への払い下げを希望していた支流の埋め立て地を購入。大球場を建設することになりました。

球場建設を命じられた、後の阪神電気鉄道社長の野田誠三氏は、アメリカの野球場をモデルに、日本最大の球場を設計。24年に完成した「甲子園大運動場」（当時）

は観客座席総数約5万人。夏の開催の多い野球の試合に備えて内野スタンドに大鉄傘（戦後の再築により銀傘）を建設しました。24年が甲子年であったことから、甲子園と命名されました。29年にアルプススタンド建設、スタンド下に室内プールと運動場を設営、38年にはジャンプ台が設けられ、スキー・ジャンプ大会が開催されます。35年に大阪（現・阪神）タイガースが発足して以来、本拠地として使われるなど、スポーツの殿堂となっています。2007～10年、耐震補強など大規模なリニューアル工事が行われ、座席や通路の快適性の向上が図られました。

プロ野球チームの本拠地として、外野が全面芝、内野が全面土という球場は他にありません。グラウンドを良い状態に保つためには、整備するグラウンドキーパーの存在が欠かせません。野球イベントなどのない時期、フィールドを掘り返して、その後の転圧作業などにより理想の「弾力性のある土」に仕上げたり、プレーに支障が出ないよう、黒土と砂を約6対4で混合した土を使って、フィールドの硬さと弾力性を調整したりします。雨天時は巨大なシートなどをを用い、グラウンドを保護。降水量や降雨予測を考慮した対応をしています。

（第2680地区・兵庫県・姫路RCにて）

私の一冊

2040年の日本

松本東RC 佐々木清夫

「20年後が分かったと、いまやるべきことが見えてくる！」と、帯のキャッチコピーにあります。未来を知ることが、興味と不安が背中合わせなのではないでしょうか。現在は、非常に速いペースで技術革新や世相が変化していますが、これからの20年はもっと速く、しかも大きく変わる時代になるでしょう。

その時代を迎えるまでの間、そして迎えた時のために今、何をしておくべきか、なくてはならないのかを、「第1章 1%成長できるかどうか、日本の未来を決める」から「第9章 未来に向けて、人材育成が急務」まで、多角的に解説。60年近く日本の未来を考え続けた著者が、多くの資料を基に、約20年後の指針を示しています。巻末にはキーワードを列挙した索引も。ぜひ一読してほしい一冊です。

（第2600地区 長野県）



野口悠紀雄 著
幻冬舎(幻冬舎新書)
2023年1月刊

この卓話を聞いて、懇親の場で改めて大重さんと話をする会員もあり、海に広く面している鹿児島県では他人事ではない、と改めて感じました。

大重さんと大学生はその後、鹿児島海上保安部から感謝状の表彰を受けました。私もロータリ안의仲間として、誇らしい気持ちです。

(第2730地区 鹿児島県 整骨院)

「奉仕の理念」と 「喫煙習慣」

新居浜 井石安比古

新居浜RCは昨年度、創立70周年を迎えましたが、ここ3年はコロナ禍となりました。新型コロナウイルスの流行に伴い、喫煙経験者のコロナ重症化率が、非喫煙者に比べ約2倍となりました。

世間を見ると、コンビニでは紙巻きたばこや加熱式たばこが売られ、各喫煙所は喫煙者でにぎわっています。加熱式たばこは煙・臭いが少ないことから禁煙補助具のように思われていますが、紙巻きたばこと全く同じで、吸入エアゾール中にはタールやニコチンを十分に含んでいます。この世相の中で、私たちロータリアンは喫煙習慣に對し、どのような態度で接するべきなのでしょう？

「ロータリーの目的」には「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。(中略)第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活に

おいて、日々、奉仕の理念を実践すること」とあります。この理念にのつとると、ロータリアンが取るべき対応は、たばこフリーの生活を送り、事業生活および社会生活でも全ての人が受動喫煙を受けないよう配慮、行動し、人々に禁煙を勧める、ということになります。

喫煙習慣は、自己の嗜好を満たす行為でありながら、結果として自己に對し被害(疾患)をもたらす「能動喫煙」と、「受動喫煙被害」を他者に加える、という2面性を持っています。能動喫煙の被害は省略しますが、喫煙習慣が生命予後に及ぼす影響は70歳時点での平均余命で見ると、喫煙者の平均余命は30%低下します。

「たばこ煙」は主流煙・呼出煙・副流煙から成り立ち、「受動喫煙」は呼出煙と副流煙によります。特に副流煙は、20種類以上の有害物質(発がん物質のアセトアルデヒド・アンモニアなど)を含み、主流煙の十数倍の毒性があります。受動喫煙は呼吸器・心血管系・脳・生殖器等に疾患を起しますが、注目すべきは、喫煙者の妻の肺がん死亡率は非喫煙者の妻に比し、約2倍を示すことです。さらには、乳幼児突然死症候群(SIDS)の発症は、両親共非喫煙者の子どもに比べ、両親共に喫煙者では4.5倍の発症率を示します。

全原因で見ると、受動喫煙による全死亡者数(以下、10万人対/年)は、交通事故死が1000人に対し、5000人と膨大な数に及びます。よって受動喫煙は家庭・公共の場など全ての場所で防止されなければなりません。共通認識は「喫煙習慣はニコチン依存症という病気であり、肉体的にも精神的にも有害であり、社会にも大

きな損失をもたらす」ということです。

従って、ロータリアンにとっての喫煙習慣対策とは、例会・会合での全面禁煙、会員全員の禁煙、会員企業の敷地内全面禁煙、そして全社会的な受動喫煙防止の行動を図ることです。

喫煙習慣はニコチン依存症という病気です。よって、社会から喫煙習慣を一掃するためには、その病気を医学的に治療する必要があります。ぜひ医療機関をご利用ください。

※1) Shaw M. et al.: BMJ. 2000 ; 320 (7226) : 53.

※2) Hiayama T : BMJ. 1981 ; 282 : 183-5

※3) 厚生労働省心身障害研究報告書1998

(第2670地区 愛媛県 内科医)

うちの子



僕はルル！
今日も、お友達の通学を見守りに行くよ。
ママ！ ポリスの制服、
着せてちょうだい。

ルル
(5歳、雄、ヨークシャー・テリア)

野坂 幸子(青森県・野辺地RC)

いたとされる。そこに第二次世界大戦が勃発、42年ごろから日本軍がアジア各国に軍事侵攻、フィリピン・アメリカ軍との戦争状態に陥った。

日本の敗戦により、フィリピンにいた日本の軍人、軍属、一般人、日本人と結婚していたフィリピン人女性、その子どもたちの生活は一変。軍人の上層部は現地で処刑され、多くの兵士が拘束された。日本に強制送還された人たちもいるが、現地で結婚し子どもがいるような人たちは、フィリピン人の報復を恐れて人里離れた山奥に逃げ、細々と生活していた。

そこに現れたのがシスター海野だった。60歳を機に自ら志願しマニラの修道院に赴任。彼女の願いは現地で亡くなった軍人や家族の遺骨・遺留品の収集、そして日系人を探し出すことだった。この時期、現地では日系人への迫害や憎しみの感情は薄らぎ、交流も始まっていた。

しかしある日、シスターは教会で会った、父が日本人という女性から、バギオ近辺に30人近くの日系人がいると知らされ、そこから彼女の本格的な日系人捜しが始まった。5年後には約1000人の日系人がシスターの手で捜し出された。そして彼らが再びバラバラにならないよう、「北ルソン比日友好協会」が組織化された。

今回、参加者全員で日本人墓地を訪ね、シスター海野のお墓で祈りをささげた。グローバル補助金事業の視察とバギオ基金の足跡をたどるという二つの目的がかない、感動の旅となった。

(第2710地区 山口県 病院)

※編集部より…バギオ基金については2022年12月号横組みP18〜20の記事も参照ください。

溺れた女性を 当クラブ会員らが救助

かのや東 橋元 洋介

「人が落ちた!」。その言葉を聞いてわがクラブの会員・大重浩樹さんは堤防から海に飛び込み、大学生と共に高齢女性を救助しました。

彼が自身の反省点とともに、今後の水難事故防止のために、クラブのみんなに話してくれた卓話を紹介します。

「その日、私は鹿児島県の石橋記念公園近くにある堤防で、雄大な桜島を眺めながら娘と魚釣りを楽しんでいました。

1時間くらいたった頃、堤防の先端の方が急に騒がしくなったため、気になり向かうと『人が落ちた!』との声が聞こえました。声の聞こえた3メートルほどの海面をのぞくと、手足をばたつかせた高齢女性の姿がありました。

女性は泳力があるようには見えず、何らかの方法で助けなければと思いました。付近に救助道具が見当たらず、何とか流される前に堤防に寄せて救助する必要があると思い、私は携帯電話などを置き、堤防から海に飛び込みました。

接近して女性を見ると、波でたびたび頭が完全に潰かりパニックに陥っておりました。早く呼吸を安定させなければと思い、私は彼女の背から近寄って抱きかかえ、立ち泳ぎで堤防まで連れていきました。自分も思っている以上に呼吸が荒くなっているのを感じながらも、消防が到着するまでの十数分間、堤防にいた釣り人が投げ入れてくれた発泡スチロールで浮力を確

保しつつ、一緒に飛び込んでくれた大学生の女性と共に、高齢女性を励まし続けました。その後、高齢女性の水難救助隊に助けられ、低体温症とのことでしたが、無事病院から退院したとのご連絡も頂きました。

今回の事故を振り返り、やむを得ない判断とはいえ、海に飛び込んだの救助の危険性を反省しました。『もし飛び込むときは浮力体を確保してから飛び込む』『クーラーボックスに長いロープを結んで陸から下ろす』などの対処法が海上保安庁のホームページに掲載されていましたのでご覧ください。

現地の対策として、海上保安部に浮き輪の設置などを依頼しましたが、このような状況に現地で立ち合う可能性がある皆さまやご家族・友人にも広く水難事故の対処法を知ってもらい、水に関わる事故が減ることを祈っています」



感謝状を贈られた大重さんと大学生。海の事故を考える契機に



親交の深い方々と一緒に、ラタクルさんをしのびました

にラタクルさんは逝去されてしまいました。
今回のお墓参りは、バンコクRCのスベンソン智江美さんの協力でかきました。その前夜には、ラタクルさんの長男で元バンコク都知事のビチット・ラタクルさんと、生前ラタクルさんと親交の深かった皆さんが集まり、盛大な夕食会を開いてくださいました。今回もお礼でタイを訪れたはずが、再度大歓迎のご接待を頂いてしまいました。

バンコクから西に車で約3時間のビーチリゾート地・ホアヒン市。この雄大な海を望む高台に、ラタクルさんは夫人と共に、静かに休まれています。命日の2月28日が近かったこともあり、当日はラタクルさんと生前近しかった

方々に加えて、数人のご友人も参列され、法要が厳粛に執り行われました。墓前に花をお供えし、手を合わせることでさえできればと思っていきましたが、長男のビチットさんと並んで、お経を唱える僧侶の方にお礼の品を差し上げる役目まで頂き、大変恐縮した次第です。

今回の訪問で、バンコクRCとグローバル補助金事業でのつながりも生まれました。これですます、訪タイの機会が増えるでしょう。次回はご家族に負担をおかけすることなく、そつと墓前に手を合わせたいと思っています。

(第2770地区 埼玉県 不動産賃貸業)

多くの感動を得た バギオ訪問交流の旅

宇部西 篠崎 文彦

2月9(12日、(二財)比国育英会バギオ基金が主催するフィリピン・バギオ訪問交流の旅に初参加した。またその後、2日間マニラにとどまり、郊外のタイタイ市民病院を訪問。パコ・マニラRCと宇部西RCとのグローバル補助金事業で寄付した、X線装置の運用状況を視察した。1000万円と高額なX線装置は2019年に寄付したものの、コロナ禍で贈呈式はもちろん、現地訪問もできないでいた。しかし今回、問題なく活用されていることを確認、安心した。1981年創立のバギオ基金は、東京を中心に多くのロータリークラブの寄付で運用され、フィリピンの日系および一般青少年の学業を支援している。毎年2月ごろ現地を訪れ、奨学金事

業担当の日系人や奨学生との交流を行っている。今回は44回目の訪問とのもので、約40年も前からこの事業が始まっていたのには驚いた。その前身として、カトリックのシスター海野(海野常世さん/1911(89))が日本中からお金を集め、74年から奨学金事業を始めており、それを引き継ぐ形で今日に至る。今までなんと4030人の子どもが奨学金を受け、フィリピンや日本で活躍している。

バスガイドの話や、帰国後に購入した『バギオの虹』(鴨野守著、アトヴィレッジ刊)から、シスター海野の活躍をより深く知った。1900年代初め、アメリカ統治下にあったフィリピンには、約3万人の日本人が生活して



奨学生(15歳)の家庭訪問宅にて。40年以上にわたる絆を知る感動の旅に



梵鐘がつないだ絆に日米の参加者が拍手。園児の歌がお祝いに花を添えた

延享4（1747）年に鑄造されたその梵鐘が、地域の方々とつとめても大切に価値があることを知った当時のアトランタ市長が、返還を決断。折しも1961年5月に東京で国際ロータリー（RI）国際大会が開催されることを知った市長が、アトランタRCの会長に協力を依頼した。アトランタRCが駐日アメリカ大使（マッカーサー元帥のおい）に指示を仰いだところ、横浜のアメリカ文化センターの協力を得て、アトランタRCが梵鐘をアトランタから西海岸まで運び、西海岸から横須賀まではアメリカ海軍が運搬を担当することになった。時を同じくして、横須賀RCでもアトランタRC会長からの梵鐘返還式への協力要請の書簡が例会で披露され、協力することになった。そ

して5月30日、浄土寺での返還式が無事に行われ、式典にはアトランタRC会長以下会員20人が参列。ゼンゴチタ横浜総領事、ケンブ・トリート少将、アメリカ海軍横須賀基地司令官ウエストホルム大佐、長野正義横須賀市長、そして横須賀RCからもW・L・ヒギンス会長以下、会員が多数参列。式典後は、ヒギンス会長邸にロータリー国際大会に出席の各国代表約100人を招待してガーデンパーティーを催し、その後、クラブ会員54人の各家庭に海外の会員を招いて夕食で接待した。この一連の出来事を通して、梵鐘にまつわる日本の文化に大いなる理解と思いやりを示したアメリカの人々に、当時の日本人の多くが深い感銘を受けた。

さて、2023年4月8日、浄土寺を菩提寺とする三浦按針（いぎりす）人航海士ウィリアム・アダムス（W・L・ヒギンス）の功績をたたえる観桜会に出席した。在日アメリカ海軍司令官カール・ラティ少将は、逸見道郎住職から終戦後16年を経て行われた梵鐘返還の経緯を聞き、大変な感銘を受けた。

この逸話を広くアメリカ海兵に知ってもらいたいと考えたラティ少将は、司令部広報官に記事を書くように指示し、先の梵鐘返還式から62年を迎えた今年5月30日に記念式典を開催。式典にはラティ少将以下、多くのアメリカ海軍将校とアメリカ海兵が参列し、日本からは自衛隊横須賀地方総監、横須賀市長、横須賀商工会議所会頭、横須賀RCからは8人が参列した（ちなみにラティ少将、自衛隊横須賀地方総監、横須賀市長は当クラブの名誉会員である）。

参列者一同で梵鐘返還の偉業をしのび、戦争のない豊かな社会の実現と世界平和を願った。

また、地元の幼稚園児らの元気な合唱に包まれて、式典の成功を祝った。

梵鐘返還という偉業に両国のロータリークラブの連携が果たした役割は大きく、時を経て風化させないためにも、この式典の持つ意義を感じた。ロータリーが大切にしている親睦と奉仕の心は、梵鐘返還を成し遂げた当時の人々の心と同一のものである。昨今の不安定な世界情勢の中では、ことさらに感慨を覚えた。

（第2780地区 神奈川県 医師）

ビチャイ・ラタクル 元RI会長をしのんで

桶川 前島 昌文

さる2月24日、桶川RCでは室征紀念会、松岡正祥会員、天沼毅大会員と共に、2002—03年度RI会長ビチャイ・ラタクルさんのお墓参りのため、タイのバンコクを訪問しました。2017—18年度に、ラタクルさんにRI会長代理として地区大会にお越しいただいたことが、ご縁の始まりです。エイドを務めた関口博正、バスターガバナー（杉戸RC）、エイド補佐の中山邦会員（上尾西RC）と新井登志彰会員（同）の手伝いで、地区副幹事の私が英語通訳としてご一緒したことが、直接お会いする機会となりました。

その後、ラタクルさんから訪タイのお誘いを頂き、19年夏、中山会員と訪問。ご自宅にお邪魔した折には大歓迎の接待をしていただきましたが、そのお礼もできないまま、昨年2月28日

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

今泉清詞さんの 親子3代入会をお祝い

川越 野溝 守

創立72年になる川越ロータリークラブ(RC)が、2回目の記念すべき快挙を達成しました。現役で、親子3代が同時に会員となったのです。1回目は1982(昭和57)年、川越を代表する和菓子店で、当時創業200年の老舗「亀屋」の山崎さん親子で3代同時入会がありました。そして今回は今泉さん親子です。

今泉清詞さん(99歳)、ご子息の博さん(74歳)、そして今回入会した嘉章さん(44歳)です。親子2代がそろうことも珍しいのですが、3代そろい踏みは全国でもあまり例がないとのこと。クラブでは今回の快挙を記念して、特別例会を開催しました。

今泉清詞さんは太平洋戦争時、ビルマ戦線と

して苛烈を極めたインパール作戦から生還できた奇跡の人。戦後、川越市の郊外・鶴ヶ島で酪農業を始めましたが、常日頃から「自分が生きて帰ってこられたのはビルマ(現・ミャンマー)の人たちのおかげ。何とか恩返しをしたい」との思いを持ち続けておられました。

事業が順調になるにつれ、その思いはますます強くなり、戦友たちと相談して、1989年に「今泉記念ビルマ奨学会」を設立。毎年、20人の留学生に2年間の奨学金を支給、その総数は178人に及びます。

何の見返りも期待せず、「恩返し」を奨学金支援という形で行ってきた今泉さん。そんな今泉さんの誕生日には、今泉さんを心から慕う多くの現役学生や卒業生、歴代の駐日ミャンマー大使が参加し、「感謝の集い」を行っております。



快挙をクラブの皆でお祝い。(左から)今泉博さん、嘉章さん、清詞さん

今泉さんが支援を決断したきっかけは、ロータリーに入会したことでした。「奉仕の理想」の下、ロータリー活動に感銘を受けた今泉さんは、1993-94年度にはガバナーも務め、「私の人生はロータリーなしにはあり得ません」と語っておられます。

同事業を継承した2代目・博さんも、川越RC創立60周年時の会長を務めました。現在は地元霞ヶ関カンツリー倶楽部の総支配人として、東京オリンピック開催時はもちろんのこと、普段から地元奉仕活動に汗を流しています。

そして今回入会した3代目・嘉章さんですが、祖父・清詞さんの意志を継ぎ、奨学会の事務局長に。清詞さんとの縁でつながった鶴ヶ島市とヤンゴン市との交流や在日留学生の支援、関東ゴルフ連盟の委員や日本青年会議所ゴルフ会の理事なども担い、多忙な日々を過ごしているそうです。入会推薦者は立原雅夫・バスター・バナーと義父でもある相原茂吉・バスター・バナーです。川越RCは現在会員数105人。今後も2代目、3代目の入会が大いに期待できることでしょう。(第2570地区 埼玉県 介護老人福祉)

梵鐘返還62周年記念 式典に思う先人の思い

横須賀 前田 長生

太平洋戦争時の金属類回収令により帝国海軍に納められ、後にアメリカ軍に接収された梵鐘が、1961年5月30日、ジョージア州アトランタから横須賀市の浄土寺に返還された。

菜種梅雨ほんのり甘き親子丼

愛知・名古屋錦 近藤歌子

遅桜とぎれとぎれの草津節

千葉・野田 高梨昇一郎

蟻地獄形くずさず音たてず

千葉・富里 寒郡政雄

片栗の花や天空城の口

埼玉・日高 佐藤隆夫

娘弾く駅のピアノや春の旅

東京蒲田 馬場久恵

膝覗くジーパンが好きシヤボン玉

愛知・名古屋北 吉田正克

一村が植田となりし月曜日

三重・名張 城山勝紀

ふらここや顔見合はせて揺れちがふ

兵庫・甲子園 田中由子

六十は働き盛り麦の秋

鳥取・倉吉 馬野慎一郎

階に腰をおろして散る桜
ゆるりと目に追う土につくまで

長野・佐久コスモス 中澤道保

ベルリンにフロリダの友も加わりて
パソコン使い同窓の会

奈良 松森重博

どじょう鍋の山盛りねぎに香り立つ
山椒ばらばら熱々を食う

埼玉・熊谷籠原 森田光彰

栗鼠来たりヴェランダの餌平らげて
桜の花が食後デザート

東京 新 欣樹

春コート纏へる女性桂の樹
並ぶ銀座を颯爽とゆく

東京ワセダ 福地桂之助

妻に似た人に出合いぬ初夏の
久々歩くマロニエ通り

千葉・富里 寒郡政雄

緑濃き大和三山踏破して
家路を急ぐ足取り軽く

大阪天王寺 高見篤志郎

肥え過ぎたニラとスイセン見間違ひ

北海道・別海 山口長伸

確かに似ています。着眼点が面白い。ニラとスイセン
の全く違う香りを思い出して笑ってしまいます。

生きているリズム弾んで花も散る

奈良 寺田康宏

花が散るのは生きている証拠。人間もそうです。生き
ているうちは、弾んで元気に行きましょう。

スマートフォン掛かる電話はライン見ろ

埼玉・川口中央 納口川俊

ご年配の方もスマホ使いこなしてますよね。でも、うっ
かり忘れてしまうこともあるんです。そんな時は、やっ
ぱり電話が頼りになります。

なぜだろか行列避けて旅疲れ

神奈川東 小山市康

コロナが収まってから、行楽地の行列は本当にすごい
ことに。だから、並ばずに済む場所を探してうつろ。
気がつけば、ぐったり。

どっこいしょつつい出ちゃうこの頃は

神奈川東 植田清司

分かります。私も還暦すぎて高座の座布団から立ち上
がる時、ついどっこいしょ、と言ってしまふ。でもちよっ
と寂しいですね。

昭和歌続けて聞けば若返る

徳島眉山 榎原道治

私が散歩しながら口ずさむのが、中森明菜さんの「ス
ローモーション」。青春時代がよみがえります。あー眩(ま
ぶ)しい日々でした。

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一
人三首まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電
話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』柳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一
人三首まで ◇締切 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ
名・氏名、電話番号明記 ◇文字明確に ◇『友』俳壇係宛

俳壇

夏井いつき 選

山水に山獨活太く洗はるる

東京ワセダ 福地桂之助

日当たりの良い山の斜面や崖などに生えている野生の獨活（うど）。日頃見慣れた野菜コーナーの土を落として綺麗（きれい）に洗ってパックされた物とは違い、立派に太く育っています。山の流れに洗われる涼しげな様が目に見えるようです。「太く」の描写からも、獨活の重量感が伝わって来るようです。

ビルの街明るさつづく花辛夷

愛知・名古屋錦 金子紀子

ビルの街とは、オフィス街でしょうか。それとも、ショールウインドウの並ぶ賑やかな街でしょうか。そこに取り合わされるのは、季語「花辛夷（はなごぶし）」。「真つ白な六弁の香りのよい花をつけた辛夷の木」の並ぶ舗道が見えてました。続いていく明るさとは、辛夷の花の明るさであり、また、春のビル街の明るさなのでしょう。

雨音に眠くなりつつ路を剥く

熊本・八代北 清水明美

規則正しい雨音は眠りを誘うものですが、この実感に「路（ふじ）を剥（む）く」動作が取り合わせられた一句です。瑞々（みずみず）しく茹（ゆ）でた路の薄皮を爪で剥き、長々と引き、水にさらす。ゆったりとした一連の映像から生まれる路の色や触感や香りが、眠りを誘う雨音と相まって、不思議な空気を醸し出しています。

黒塗の車飲み込む躑躅の赤

愛知・名古屋錦 石井弘子

歌壇

佐佐木幸綱 選

鳴子ダムのすだれ放流の迫力の落差に驚き驚嘆の声上ぐ

宮城・古川東 高橋義宣

宮城県の鳴子ダムの「すだれ放流」の迫力を一首に見事にうたいあげました。

「すだれ放流」とは、毎年五月の連休時に雪解け水を一気に放水する鳴子ダムのイベント。

幾度も蜃気楼遠くたつ見えて
心は騒ぐ 温き春の日

富山・魚津西 加納綾子

作者が住んでおられる富山県の魚津は江戸時代以前から蜃気楼（しんきろう）の名所として知られています。見慣れていても、やはり蜃気楼が見えると心がそわそわする感じが、下句に表現されています。

ハナミズキ咲いているよと娘のLINE
アメリカはもうすぐ夏時間

兵庫・洲本 長井康洋

柳壇

三遊亭白鳥 選

今年の夏は異常気象、すさまじい猛暑と言われていますが、皆さん大丈夫でしょうか？ さて、今回応募いただいた川柳は面白い作品が多く、選ぶのに苦労しました。私も日中の散歩やめましたよ。暑い日は無理せず、涼しい場所で今日もクスマと笑いましょ。

竹の皮脱ぎ散らかして雨上がり

熊本・八代北 清水明美

たけのこを掘りに行った時の光景でしょうか？ たけのこを掘るには、土が柔らかくなった雨上がりが良いと言われていますね。

竹林の中、たけのこの皮の何とも言えない、懐かしい香りが漂ってきます。

幸せは見えないけれどすぐそばに

大阪大淀 長谷川孝華子

毎日変わらぬ日常に、うんざりしてませんか？ でもこの年になると、同じ日々が続くのが何と幸せなことなんだろう、と思います。昨日と同じ今日は無いです。

チャットより「ちよっとだけよ」がわたしや好き

神奈川東 月山 勇

懐かしい。加藤茶さんの名台詞（せりふ）。小学生の頃、聞いてドキドキしたのを思い出します。「わたしや好き」、年がいくなくかわいく感じますね。

皇

居内に小さな田んぼがあり、天皇陛下は毎年、その水田で田植

えと稲刈りをしています。神代から続く儀式かと思つたら、1927（昭和2）年に昭和天皇が始められた行事でした。昭和天皇は「国民と共にわずかも同じ苦勞を」と、農作業を自身に課されたそうです。昭和天皇のお人柄をしのぶエピソードですが、「田」での営み、そしてそこで得る実りは、私たち日本人の生活そのもの。天皇陛下に倣つて農家の人の苦勞に感謝しなければ。

「田」「田んぼ」と聞くと、初夏には一面水が引かれた光景、秋になるとたわみに実った黄金色の稲穂を連想します。皆さんはいかがですか。おそらくイメージとして「田んぼ」「イコー」「水田」だと思っています。

米は苗代に種もみをまき、育った苗を本田に移し植える栽培方法をとる田植えが一般的ですが、こうして栽培される稲を「水稲」と言います。一方、「陸稲」という栽培方法があります。分かりやすく言えば、「畑で作るお米」。麦などと同じく、種もみを畑に直播する方法で

す。日本では、陸稲の生産量はごくわずかで、生産量も耕地面積もほとんどが「水稲」になります。

稲はもともと熱帯の作物で、温帯気候のこの国の風土に合っているとは言えません。しかも、日本の土壌は土の層が薄く、火山灰も多く、さらに多雨という独特の気候が土壌の養分を流し、酸性になりやすいという特徴を持っています。農作物は中性の土壌を好むものが多いため、土壌が酸性になると植物（農作物）の生育が悪くなります。つまり日本の土壌は、もともと作物の生産に最適な土地ではありませんでした。

これらの問題を解決するため工夫されたのが、「水田」。水をためることで、土壌中の酸素が少なくなり土が還元され、酸性が中性に変化します。また、リン酸は作物の根で吸収されやすい形に変わります。軽い火山灰は、水があるため風に飛ばされません。また、表面に水を張っていることで雑草が生えにくく、稲の保温に適し、何より生育に必要な水分が不足しません。このようなシステムによって、米が日本人の生活、日本の歴史を支えてきたのです。



Food for Thought

日本人とお米のはなし

自然と共生する水田

久保田英男

「水田」を維持するためには当然、水を治めることも必要になります。治水・灌漑事業は、そうした目的だけでなく地域の被害の軽減や予防、水不足に役立ち、「田んぼ」にためられた水は、やがて土に吸収・循環され、水質や水量にも良い影響を与えます。何もかもが人工的に作られる「水田」ではありませんが、自然を壊すのではなく、自然と共生するという面も持ち合わせています。稲は大気中の二酸化炭素を取

り込み、新鮮な酸素を供給、水を渡る田んぼの風は、水の蒸発、稲の蒸散の相乗効果で涼しく、爽やかな空気を作り出しています。そこに集まる生き物、カエル、メダカ、イモリ、ザリガニ、トンボ……。カエルは稲の害虫を食べ、トンボは田んぼに集まる小さな虫を食べます。こうした生き物を餌とする鳥もやってきます。環境を守りながら、食を作り出す「田んぼ」は、エコ社会の万能選手なんです。ところで、「田んぼ」の生き物といえばトンボ。一説にはその名の由来も、「田んぼで生まれて、田んぼで飛ぶから『飛ぶ田んぼ』、それが縮まって『トンボ』」だそうです。前回、日本の美称を「豊葦原瑞穂国」と紹介しましたが、日本の別称に「秋津島」という呼び方もあります。この「秋津」とはトンボのことで「トンボがたくさん飛ぶ自然豊かな島」の意。記紀の時代から、こうして自然豊かに生活することを私たちは誇りに思っていたのでしょうか。何かを犠牲にするのではなく、自然環境と共生して、みんなが幸せでいられる平和な世界づくり。先人に学び、次の世代へつないでいきたいですね。

久保田英男 鎌倉RC会員（職業分類：菓子製造販売）学生の時から家業関連の飲食業でキャリアを重ね、現在は大学で外食・ホテル業界での就職を目指す学生たちに自身の経験を伝えている。



恵子さん主催の部長会飲み会。
右手前が社長を支える狩山昌弘専務

お願いしたら、

「趣味ですか？ 社員と一緒にワイワイ
言いながら食事することかしら」。

長女の藤原加奈副社長は後継者指名を受け、次女の由佳取締役も長年勤めた大手商社を辞めて入社した。設計・製造分野のトップ狩山昌弘専務は、会社の技術関係の要である。恵子社長をしっかりと支える。

「経験の全くなかった母にとって、しんどかった道のりだったと思います。ひとえに社員とお客さまを大切にするという信念あつてこそと思います」（加奈副社長）

恵子さんが直接大型契約をまとめることもあった。焼酎の老舗、霧島酒造（株）の新工場のプラント建設を含めたトータルエンジニアリングを決断したのは恵子さんだし、最近では中国企業との50億円近い大型契約もまとめた。

「トップセールスは恵子社長でなければできない。顧客にこの会社なら信頼していただけ、その背景にあるのは恵子社長の誠実さだと思います」（西村直純執行役員）

恵子さんを導いたものの一つは、善也前社長が残した会社の将来構想メモだったかもしれない。

「メモは亡くなってしばらくして長女が自宅で見つけました。本当に道半ばでした。無念だったろうと思います。娘たちは父親が大好きだった。一歩でも近づ

きたいと頑張っています」

微生物を使い新事業 手料理は孫に好評だ

今年創業90周年を迎えた会社のもう一つの柱が2050年に向けた『微生物インダストリー』を世界で共創する』というビジョンだ。具体的には会社が醸造機械で培った技術で食糧や飼料、エネルギーやバイオ素材などを麹菌など微生物の力で作り出していくというものだ。

「まだ商売にはなっていないませんが、各方面から注目されています」（恵子さん）

取材の途中、岡山西ロータリークラブ（RC）の例会にも参加した。善也前社長が亡くなった時、父の章夫さんはガバナールを務めていて、クラブを回っている途中だったそうだ。恵子さんは子どもの頃から父に連れられ、ロータリーの家族会に参加していた。この日は家族会の頃から仲が良かった丸川真太郎会員と同じテーブルだった。恵子さんはこのクラブの初代女性会長も務めている。

ここで恵子さんのプライベートな「優しいあば」の一面を少し。週に何回かは仕事を早く切り上げ、買い物をして自宅に戻り料理を作る。同居する孫が学校から戻って、塾に行く前に温かい料理を食べさせるためだ。

「出来たてを食べさせてあげたい」
孫で中学3年生の木彩さんと小学6年



生の杜磨くんは言う。「ばあばが作った肉じゃがと豚の角煮は最高においしい」
2人の母である加奈副社長は、「母はおばあちゃん子だったので、おばあちゃんから受けた優しさを今度は自分の孫たちに、と思っているのでしょう」とほほ笑んだ。

藤原恵子（ふじわらけいこ）岡山西RC会員、（株）フジワラテクノアート代表取締役社長。1951年、岡山市生まれ。神戸女学院大学卒業後に結婚、専業主婦をしていたが、夫の善也前社長が急逝後2001年社長就任。10年岡山西RC入会。20年同クラブ会長。全国醸造機器製造組合理事、岡山県溶接協会会長、（株）ハローズ社外取締役、岡山大学理事（非常勤）も務める。



立しないと。パパがいなくなったら大変なことになる」。そんな話をした直後のことだったと恵子さんは言う。

シヨックと喪失感。夫との思い出に満ちた岡山の自宅にるのが耐えられなかった。四十九日を終えると、逃げるように東京で大学生活をしていた娘2人の元へ。年末まで3カ月余り暮らした。

「娘に聞くと、突然泣き叫んだりしたそうです。でも、私にはその間の記憶がないんです」

父の章夫会長からそろそろ戻るように、と諭され帰郷。岡山に着くと社長を継ぐように言われた。会社への思いは深かったのも、何も分からないまま事業継承の大きな決断をした。

01年1月4日。あいさつをしに会社に行くと「恵子ちゃん」と声をかけられた。子どもの頃に世話になったお兄ちゃんたちが数人いたのだ。最初にしたのは当時100人ほどいた社員一人一人との面談。「何も知らないことはかえって良かった。分からないことは何でも誰にでも聞いた。社員とお客さまに全て教えてもらいました」。取引先との面談では、慰められ、泣いて帰ってきたことも何度かある。

恵子さんの主婦目線も生きた。会社に新しい風を送り込んだのだ。女性活躍推進や働き方改革、そして健康経営である。社長就任時は5人だった女性社員は、今では31人と全社員の20%を超えた。優秀

な男性社員も増えた。子育てのため育休を取りやすくした。出産後の女性社員の就業復帰率は100%だ。今、注目されている少子化対策を先取り、実現させた。

次に作ったのが社員食堂。会社がある岡山空港工業団地の回りに飲食店はない。当時は仕出し弁当を注文していたが、社員に温かいおいしい食事を、と自前の食堂を作った。会社が補助しランチを1食350円で提供。醸造機械を納入している得意先のしょうゆやみそなど発酵食品を使って味付けをした。

食堂入り口にはどのメーカーの商品を使っているか書き出している。自社製品納入先で造られた日本酒や焼酎の瓶もズラリと飾られている。筆者もサバみそ煮のランチを食べたが絶品だった。

社員にも好評なのだろう。話題の社食というわけか。地元テレビ局と取材が重なり、「サラメシ」ではないが恵子さんがテレビカメラの前でマイクを持って食堂自慢を語る場面を見てもらった。

「父は営業で、夫は技術力で会社を成長させた。私は社員の働きやすい環境づくりに力を入れようと思いました。2人の娘が支えてくれたから何とかやってこられた」

恵子さん主催の部長会飲み会にも同行した。数カ月に1回役員も加わって、各部の垣根を取り払って食事を共にしながら現場の声を聞く機会だ。事前に趣味に打ち込んでいる時の写真も撮影したいと



工場外観。
社員食堂では料理に使っている得意先の商品を掲示板で紹介

岡山桃太郎空港。ふっと和む癒やし系のいいネーミングだ。岡山市中心部から北西に15^{キロメートル}離れた小高い丘に広がる。そのすぐ隣に、今回お訪ねする藤原恵子さんが5代目社長を務める(株)フジワラテクノアートの社屋があった。4万平方メートルの広大な敷地に工場も併設されている。しょうゆ、みそ、日本酒、焼酎などを造る醸造機械・大型醸造プラントの分野では業界トップの企業だ。

県内他社の社外取締役を務める恵子さんは多忙な人だ。取材初日の6月19日は午前10時にインタビューが設定されていた。空路だと羽田から1時間15分。午前7時55分発の便なら余裕、と思ったが、機材整備のため出発時刻が50分遅れた。岡山空港到着ロビーに出たのが10時。社員の方が迎えに来てくださった。大丈夫です。

「車で2分で会社に着きます。大丈夫です」

何とか数分遅れで滑り込んだ応接室に入ってきた恵子さんの小柄で優しさに包み込まれるような包容力にも救われた。社長歴22年。同社は取引先の注文や相談に応えられるよう、オーダーメイドの機械作りに徹している。自動製麺装置や粉体殺菌装置など最新の機械も多く、主要製品である麺作りの機械では、国内シェア8割、世界20数カ国に輸出先を持つ。会社の所有する特許は国内外合わせて71もあるという。複雑で総合的な事業形態なのだ。それを束ねる人が、かつては専

業主婦で、仕事どころかアルバイトをしたこともなかったと聞いて驚く。

夫の急死で社長に 社員の環境改善に力

恵子さんは3代目の章夫社長の長女として岡山で生まれた。幼い頃は自宅近くにあった会社の独身寮で遊ぶのが好きで、自転車乗りも若手社員に教わったそう。

「食事に来たり、お風呂に入りに来たり、社員は家族と同じような存在でした」

岡山を離れたのは兵庫県西宮で過ごした大学4年間の寮生活の間くらい。旅行ジャーナリストに憧れたこともあったが、大好きな祖母は「早くいいお婿さんを取って、会社を盛り立てて」と言い続けていた。何となくそうなるのが当然のように思っていたと言う。そして習いにいった茶道の先生に祖母が頼み込んで紹介してもらった見合い相手が、夫となる4代目の善也前社長である。

「最初に会った時からこの人と結婚するんだろうな、と」

大阪大学工学部出身の技術屋で、3つ年上。3人兄弟の三男坊。初デートで2時間も待たされた挙げ句、給料日前だからと小さなお好み焼き店に連れていかれた時はびっくりしたが、裏表のない面白い人だった。大学を卒業した年に23歳で結婚。2女に恵まれた。



長女に加奈さん(右)と由佳さんと

子育て命、の専業主婦。育児などが一段落したころ、恵子さんは会社に出ることも考えたが、善也さんから、

「あなたは出費を抑えること(笑)と、人のために尽くしてください」

と言われた。夫は会社の技術力の向上に力を入れ、新しい機械を次々と開発していた。本社を現在の場所に移転したのも善也さんの力業だった。会社の業績も伸びたその直後、突然の悲報が舞い込む。2000年7月。善也さんが香川県の直島町で水難事故で亡くなったのだ。享年52。事故の1週間前に長女と、

「パパがいるから楽ね。でも私たち自

この人
訪ねて

藤原恵子

さん

岡山西ロータリークラブ



専業主婦から5代目社長に
女性目線で改革続け22年

変ですね」とおっしゃいましたが、「宿として許し難い」という厳しいご意見もあり、そうしたきつい意見は、アンケートや口コミに反映されやすいので、むなしくて仕方がなかつたです。これまで私たちの経費で5軒解体し、景観修復には、トータルで8000万円ほどかかっています。

本当は、市・県・国、特に国のお金が頂ければこの東山温泉はほとんど全て修復可能です。東山温泉は端から端まで1・5^{キロメートル}ほどです。1軒だけ、ちよつと飛び地の宿がありますが、それを除くと川沿いに、面というよりも線状に位置しています。廃墟は全て解体撤去して更地にし、植樹するパターンで試算すると3億円あれば、入湯税だけで今、毎年7000万円ほどありますから、景観修復は夢物語ではありません。

そして会津は、米、野菜、お酒が本当にいい地なのです。びっくりするほどです。会津エリアには40歳の蔵があり、一つの蔵だけでも何種類のお酒があります。それから発酵食品、こはみそやしょうゆの宝庫です。こうした和食の基礎食材がほぼそろっていて、しかも安く手に入ります。そこで高知での仕事の時と同じように、地産地消スタイル、そこにある土地の産品を活用する、さらに地域の素材を「つなげて」、そこでないと食べられないものを創作していききました。

となると、課題は旅館そのものの大赤字。廃業する瀬戸際のを3軒お預かりしたのですが、宿として最後のチャンスとして、今回の事業再生に皆が懸けました。法的整理をせず、過去の一般債務を全部、背負った再建でした。加えて、使えない施設まで管理しなければなりません。この過疎街中心部の再生事業をきっかけとして、東山温

泉全体の地域と会津の経済活性化を、期待されました。

覚悟した私は旅館の一つに3年間、住み込みました。赴任先の部屋から出たきつかけは、ゴールデンウィークの時の、オーバーブッキングです。部屋の畳を急いで替えて対応しました。経費を落しながらか客さま満足度を上げるために、全200室ぐらいのうち、初めは半分の100室を稼働させ、収益の改善を徹底的に図りました。

固定費を、ぎりぎりまで削りました。例えば20本ほどあった電話回線は4本に減らしました。これは、お客さまにも従業員にも直接影響しない部分なので、削りやすいところを削りました。

改修は冬の間。職員の冬の間の雇用維持にもなります。赴任した年は記録的な大雪の年で、11月の末から毎日雪かき。その時、あちこちが壊れていることに気が付き、自分たちで改装することにしたのです。

次はアピールできるところ。豊富な源泉、新選組のあの土方歳三の入ったというお風呂、新しくしたきれいな客室、会津の食材を使った料理の素晴らしさ、これら全てをアピールしました。

一方、優しくて真面目な職員ではありませんが、勉強不足にはがっくりしました。職員なら知っていて当たり前という点が、共有できていなかったのです。ですから、毎週のように研修をしました。1時間半ほど、部署ごとに行いました。座学も用意し、取引先の方々、酒蔵の主人、農家さん、私も講師になり勉強し続けました。そうすると、つくっている人の思いが肌で分かってくるので、使うお酒を、米や野菜を大事にすることに「つながり」ました。経営方針として「大事にしてください

い」と命じても、現場の職員には実感が湧かないもの。それを生産者側からじかに伺えば、こうやって醸すんですか、こんな思いが込められているんですか、と手にする食材に愛情が注げます。生産者さんとも「つながり」ます。

このようにして、何とか旅館を再生できて一段落したら震災、そして次は新型コロナウイルスでした。お客さま激減、一館丸々休館する状況が続きましたが、基本的には補助金助成金に頼らないで済んだのです。どんな時でも、どんなことも、考え方次第でビジネスチャンスになります。少子高齢化、海外人材の活用方法、課題はチャンスです。経営者が諦めてしまったら、職員も諦めてしまいますから。トップは最後まで諦めない。

福島には結局17年間、住んでいます。本当にいい所です。外から来た私から言わせれば、地の人のは身の回りの良い部分になかなか気付けない。こんなに良い部分が生かされていないというのは、悔しくないですか？ もちろん、誰にでも、どこにでも、良くない部分もありますから、それを切り捨てて、割り切つて、良いところを皆で伸ばすこと。自らをブランド化しましょう。ブランドになれば、それを求めて人が集まります。

再び、世界中から人がやってきて魅力ある地域にあふれる日本です。日々一緒に働く仕事仲間が幸せになれるような職場を目指していきたい、と思いますので、ぜひ東山温泉へもいらしてください。今日の講演もまた、自分自身のアップグレードのきっかけの一つとして進みます。人が、仲間がたくさん語り合つて、多彩な「次につなげる」が生まれますように。

地元でファンを創る 自らをブランド化する

さて、温泉街の再生・共生において、当社の企業理念として「会津のファンを創る」としています。コンセプトとして「地元のファンを創る」ということで行っています。ファンを創ることが、経営者にとっては次に「つなげる」話でしょう。

「温泉宿」という商売は、語弊があるかもしれませんが、少し前まではお客さまの言いなりになりざるを得ず、理不尽とも言える商売だったと思います。東山温泉の場合、団体旅行客対象の温泉地という位置付けで、1泊2食付きで税込み6000円、という時代を長いこと過ごしました。営業すればただけ、赤字になった時代です。

震災前に私が来た時、大きい宿で事業再生をしていないところはない、という状態でした。当温泉は東北6県の主な地域で単価が一番安かった。他が1泊1万5000円から2万円の時に、ここが一番高い宿で8000円ぐらい。そんな価格では、利益が出るわけがなく継続できない。

事実として、客単価が低い宿のお客さまのマネーは落ちます。安宿からは良いサービスを受けられないので、客が不満を持つ、負のスパイラルが起きますのです。客は職員へ不満を当たり散らします。毎日のようにそんなことが起きれば、良いサービスをした、と思っている職員の性格もだんだん悪くなる。警察沙汰になることも多々あり、つくづく理不尽な商売だと思いました。

ありがたいことに職員は皆本来、心優しいメンバーです。少しでも希望をかなえてあげたいと思

い、まずはインタビュー。寮に住む職員は「テレビ見たいです」。えっ今どき、寮にテレビがない？ベテランの職員に「何食べたい？」と聞くと「もう10年以上食べてないからうなぎ。最後1回ぐらい、うなぎ食べて死にたい」。私だつてしょっちゅう食べるものではありませんが、経営者の私が言うのも変ですけども、それほど安月給でした。

いきました。もちろん、東山温泉全体に悪いイメージが付きまして、「廃墟ツアー」でもうけたらいんじゃないか、と言われてしまうぐらいの状況でした。私たちの宿の目の前にも、右半分が崩れた状態の宿がありました。あの景色を見て、文句のないお客さまはいないでしょう。

でも、一生懸命な人たちでした。朝の4時に起きて朝食の準備を始め、夜の11時まで仕事。忙しい時は24時を回る時もあるのに、また朝4時起きで、遅刻もせずに働く職員たちでした。経営者なら、何とかして、こんな皆を幸せにしたいと思います。これはもう、この職員を幸せにするのが私の使命だ、と思いました。

何年もかけ、私たちは会津若松市と役割分担し2500万円ぐらい拠出、ある宿1軒を解体撤去しました。跡地は造成して植樹しましたが、1軒なくなっても第2、第3、第4の廃墟館が前後左右にある。ここは奥まった場所の、本来なら秘湯の景観の趣のある素晴らしい温泉地なのです。それだけに、廃墟となると逆の迫力がありました。お客さまが静かな奥地の宿で和みたい、くつろぎたい、温泉にゆっくり入って元氣になりたいという時に、この廃墟を見てどう思うか……。

この職場環境の改善は、比較的早く果たせましたが、景観問題が待っていました。昔は芸者さんが100人ほどいた地と聞いています。それが廃れただけに廃墟が連なり、川沿いにたくさん残っていたのです。まずいことに、温泉街中心部のさる廃墟旅館は、テレビのワイドショーなどに取り上げられてしまうくらいぼろぼろになって立って

都市計画を専門で勉強した私としても、参りました。景観は大事にするべきポイント。当時、景観に関する説明とおわびの文章を、宿に準備しました。今読み返すと、言い訳を書いています。多くのお客さまはそれでも理解してくださって「大



■(株)くつろぎ宿代表取締役社長 深田 智之

1964年 東京生まれ。東京電機大学大学院理工学研究科建設工学修士課程修了。(株)住信基礎研究所、(株)第一勧銀総合研究所(現・みずほ総合研究所)に入社。退職後、2001年(株)リゾート・コンベンション企画代表取締役社長。グリーンピア土佐横浪(高知県須崎市)運営を受託(2004年3月まで)。2005年 福島県会津若松市に位置する東山温泉にて、3軒の旅館の同時一体再生に取り組み。現在(株)くつろぎ宿代表取締役社長。

の、仕事が終われば、また東京へ戻るんだろうな、と思っていたんですが、もしここで全部失ったとしても、後悔したくない。何かを失うとしても、失った理由が東日本大震災です。誰かのためになったがための結果であれば、もう1回、どこかでやり直せばいいと考え、踏み切りました。

受け入れ初日は全然反応がありませんでした。自社ホームページは当然のことながら、SNSなどにかく考えられる限りの手段を使って、情報発信を試みました。ラジオ、テレビ局、新聞社で取り上げてもらい、「全部無料で利用できます。どうぞ来てください」と広報に努めました。でも、なかなか届かなかったようです。本当に困っている方に情報が届かないパターンでした。2日目になって「本当にいいんですか」「もちろんです」という会話が始まりました。

その頃、行政側は「人体の被ばくテストをしてからじゃないと避難所に入れられません」という段階だったようです。確かに、私の旅館も倒壊しなかったものの、その後の余震や放射能に対しては不安なままで経営していました。でも、寒い東北の3月、ともに睡眠も取れない皆さんにはまづいらしていただいて、お風呂に入って温まってほしいと切望しました。会津のおいしいお米で炊いたご飯とみそ汁、ちょっとしたお新香は準備できましたから。何を優先するか、ですね。とりあえずお風呂に入って温まりおなかいっぱいになって、それからゆっくり休んでください、と、私たちはいらした皆さんを受け入れ始めました。

3日目を過ぎたら、もう数えきれないほどになつてしまいました。フロントで把握できたのは1356人まで。宿の定員は実は500人もない

のですが、そんなことを言っている場合ではないので、鍵を渡さず、家族単位で入室していただきました。お一人、2〜3人連れの方は相部屋で。それでもいっぱいになってしまい宴会場を開放。布団は一人一枚、最初はあったのですが、すぐ足りなくなり共有してもらいました。

停電にならなかったのも、電気で暖房できたのは幸運でした。「あつたかい」と喜んでいただけました。お風呂も24時間いつでもOK。おかずはほとんど付けられませんでした。三食おなかいっぱい、常時提供しました。

職員だけでは対応できないので、途中からボランティアを募集したら、たくさんの方に集まってもらえました。交通誘導、ゴミ収集、お風呂清掃、おにぎりも握ってもらいました。ですから、受け入れが1300人を超えてもうまく回ったのです。何日かすると、行政の準備した避難所へ、移動される方が始め、3月の終わり頃には落ち着きました。トータルで1万3000人を超えて受け入れていました。

その3月末でした。東山の観光協会として臨時総会的な会合を開きました。たまたまそこに、観光協会長宛てに福島県から電話がかかってきました。「東山温泉で大熊町の被災された方を受け入れてほしい」という電話でした。

「いくら県が助成してくれても、そんな大人数無理」が多数意見。私は「でも、今ここで、東山温泉のメンバー全体で受け入れなくてどうするんですか」と申しました。2000人超えでも、東山温泉全体でならば、受け入れ可能はず。大激論の末、受け入れを決定しました。

ここで非情なように思われるかもしれませんが

が、経営者はどんな時も、醒めていなければなりません。人としての情だけで動き、キャパシティーもないのに被災者の方々を受け入れたら、かえって混乱が起きることは必至です。

かつ、3・11直後のような時には、どう考えても「お客さま」はいらっしゃいません。しばらくは観光もビジネスも成り立たない。1人1泊5000円、県が負担してくれるなら、私たちのためにもなる。経営的に今、受け入れをしなかったら、むしろ東山温泉全体にお金が入らなくなり終わり、という局面を予想しました。この二つ、人として道義的・道徳的な部分と、それから旅館の責任者として経営的な部分、両方合わせて事態を照射すれば、次に「つなげる」ためにも絶対に引き受けるべきでした。こんな瞬時の判断が次々と求められることが続きました。

かくして4月からは、1泊3食付き5000円という、県の制度として被災者の方々を受け入れました。私たちの旅館だけでも、夏休み前ぐらいまでは300人以上の方に利用していただきました。東山温泉全体で2200人ぐらい受け入れ、温泉全体の皆の気持ちもつながったと思います。職員も、この時ほど社会に貢献できる商売はない、と感動しながら働いていましたね。

日本では、関東直下型とか南海トラフとか、次なる危機が、今すぐにでも起きることを頭に入れておかねばなりません。だからこそ、日ごろから少し、心とお金の余裕も持っておかねばならないと思います。日本の多くの地域が同時多発的に被災したら、ということも常に意識して、一人一人がどこまでできるのか考えておかなければ、次に「つなげる」ことができないと思慮しています。



夏の会津、東山温泉郷 提供：深田智之

なげる」ことになった話をしていきます。

企業として存続するため、私がいつも大切に思っているのは、「理念」です。迷いが生じたりして一度立ち止まる時、職員と真剣勝負する時など、必ず理念に立ち返ります。理念を貫き通すには、やはり「志」と「収益」が大切です。志がとて高くて素晴らしいとしても、収益的にはどうかとなると、残念ながら継続は怪しい、ということが多いものです。その逆も多々。二つのバランスを図ることが大切になります。

あの震災後に補助金、助成金、原発の保証金などを使って会社を立て直した後、これに頼り切ってしまう、本業で稼ごうという意識が薄れてしまった企業がたくさんあったと聞いています。いつまでも支援金ありき、の会社がうまくいくわけはありません。

正しく復興していくためには、本業で収益を上げていかなければなりません。正しくコスト削減をして、次に、増収の話を立てるべきです。この順番、切羽詰まったときほど、間違っただけではありません。立ち直っていく間に、チャンスは必ずどこかにあります。

残ったこの命、どう生かすか

私は2011年3・11の震災の瞬間、午後2時46分、羽田空港にいました。石川県のある旅館再生の仕事が入っていて、小松空港から羽田に戻ってきたところでした。着いた瞬間に揺れ始め、空港のテレビでリアルタイムに状況を見ていました。これは大変なことになった、と思いました。

電話が通じないので連絡もできません。しかも羽田から出られない。

ようやく夜中に電話が通じ、職員もその家族も皆無事、との確認が取れましたが、会津の建物には、かなり被害が出ているとのことでした。最上階の展望風呂温泉の配管が折れてしまい、下の階の客室が全部、水浸しになってしまったということです。わずか5分ほどで何十トものお湯が下に流出。しかし幸いなことに、「それ以外は、ひび割れ程度です」と。

「残ったこの命、どう生かすか」。あの時、瞬間的に頭がよく切れたもんだ、と今にしています。これは、阪神・淡路大震災の時の経験が生きたのだと思います。まだ会社員で、上司に「調査に行け」と言われて被災現場を回ったことを思い出しました。今回は、今からどうするか。ただ、ここで、誰が、どう困っているか、というニュースが全然流れてきません。何ができるか……。夜、職員へ役割を記したショートメールを打ち、自分たち温泉旅館として、できること全てを準備してほしい、と伝えました。

何とか残った私たちの宿へ、どれだけの人があるのか。利用されるかされないか、必要とされるかされないか、予測すらつきません。けれども、できる限り受け入れる準備をしよう、全部無料にしよう、と決意しました。職員からは「いくら何でも、こんな時に完全無料はちよつと……」という意見も出ました。しかし今、それこそこんな時に「稼ぐ」必要はありません。こんな時こそ、人としてできることをする時、ではありませんか。経営的にも、全部責任を取ろうと覚悟しました。先に述べましたように、高知の後に会津に來たも

語り合い 次につなげる

人と人をつなげるための危機管理について、それから、会津の東山温泉の大赤字だった旅館を立て直したことは、何かを「つなげる」こととなった話をしていきます。

(株)くつろぎ宿 代表取締役社長 **深田 智之**
Tomoyuki Fukada

企業理念を貫き通すには

「志」と「収益」のバランスが大切

私は1964年、東京に生まれました。育ったのは新宿2丁目。遊び場は新宿伊勢丹デパートの屋上や、2丁目街中スーパ―やお寺さんの裏。

こんな典型的な都会っ子として育ち、大学院修了後も都市計画がしたくて、銀行のシンクタンクを選びました。日本の金融機関が世界の総資産残高のトップ12位までを全部占めた、というバブルの頃です。その後、一度転職しましたが、10年間は会社員として、勤め続けておりました。

そこへ、当時の厚生省の大規模年金保養基地（グリーンピア）を売却したいとする話が、舞い込みました。基地は当時、全国に13カ所あり、実態として全て大赤字。そこで「どのようにしたら短期間で収益を改善し、国民の資産を少しでも高く売れるのかを、調査してみませんか」という提案をしました。

調査してみると組織にも個人にも責任、権限、ペナルティー、インセンティブ、何もかもがあいまいな一方、決め事が複雑過ぎました。仕組みそ

のものが問題の根源で、それを見直さない限り解決できない、と思いました。

組織に対して、さらに個人に対してのインセンティブやペナルティー、両方を導入し直せば、改善は可能だろうと予測できました。13カ所全てにこうした仕組みがなぜ導入されていないのか。責任を負いたくないから？ 既得権が実はあるから？ このままだと、地方から日本は衰退すると思いました。20年前の当時でも、都会に比べれば地方の既得権はやはり大きい。そして人口減少・高齢化は既に進んでいました。

地方は日本の未来の縮図です。逆の視点から予測すれば、ビジネスチャンスがあるということ。2001年、私は会社員を辞め、起業しました。13カ所のうちのひとつ、高知県土佐の保養基地運営を担うことにしました。2年で黒字化に成功し、事業としては完了。東京に戻るようになりました。仕事先の高知で、家族の成長が見られたのは、別の面で良い思い出です。

次は心機一転、福島県会津若松市の東山温泉を産官一体で再生を、という仕事をお受けしました。2005年のことです。大正時代には、竹久夢二や与謝野晶子らの文人も訪れる東山温泉でしたが、この頃はすっかり低迷していました。地域再生ファンドを活用して、破綻寸前の旅館を3年余りで再生できました。「会津で数年だけの仕事」と思っていました。ところが、今に至っています。

さて、今回の講演依頼を頂いた後も、また大きな地震がありました。3・11の時のことを思い出してしまいます。そこで、人と人をつなげるための危機管理について、それから、東山温泉の大赤字だった旅館を立て直したことは、何かを「つ

SPEECH 4
語り合い 次につなげる 65

(株) くつろぎ宿代表取締役社長 深田智之

この人訪ねて 9
60

藤原 恵子 さん 岡山西RC(第2690地区)

記事・山本朋史 撮影・工藤隆太郎

Food for Thought 日本人とお米のはなし 13
56

自然と共生する水田 久保田英男

ロータリー 俳壇 14
55ロータリー 歌壇 14
55ロータリー 柳壇 14
55友愛の広場 16
53

今泉清詞さんの親子3代入会をお祝い 川越 野溝 守

梵鐘返還62周年記念式典に思う先人の思い 横須賀 前田長生

ビチャイ・ラタクル元R-会長をしのんで 桶川 前島昌文

多くの感動を得たバギオ訪問交流の旅 宇部西 篠崎文彦

溺れた女性を当クラブ会員らが救助 かのや東 橋元洋介

「奉仕の理念」と「喫煙習慣」 新居浜 井石安比古

◆うちの子 21
48卓話の泉 21
48

阪神甲子園球場 久保田晃司

私の一冊 21
48

『2040年の日本』 松本東 佐々木清夫

声 5月号の感想 22
47

今月号の表紙 — 多才な障害者アートをお届け

海のいきものが
のびのびと泳いでいる水族館です。
絵を描いて、切って、貼って、
楽しく作りました。

支援スタッフ代筆

楽しい楽しい水族館、いろんな魚たちの特徴も
よく表現されていますね。そして、右端に立っ
ているペンギンが何ともかわいいです。

アートディレクション・五十嵐仁之



水族館

イラストレーション

にじの会 / 栗原祥平さん

東京都三鷹市

270×380mm

紙、色鉛筆、ボールペン / 紙にコラージュ(紙に描いた絵を背景画に切り貼り)

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容・投稿)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
https://rotary-no-tomo.jp



◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



見つけた！私が5年前 に書いた記事！



電子版は毎月1日に最新号公開。
創刊号から全て読めます。



ロータリーの友

電子版ご利用時の注意

購読のためのID・パスワードはクラブ事務局へご確認ください。

電子版は購読料をお支払いされている期間のみ閲覧いただけます。

www.tomo-archive.net



ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

8

2023

August

SPEECH

深田智之さん

語り合い 次につなげる

この人 訪ねて

藤原恵子さん

岡山西ロータリークラブ



Rotary

